

名前

時代・年代の表し方

p.5

▶ 確認問題

- (1) 西暦 (2) ①B.C. ②A.D.
- (3) 世紀 (4) 101
- (5) 2000
- (6) 紀元前3世紀 [B.C. 3世紀]
- (7) 8世紀 (8) 元号
- (9) 20 (10) ①平成 ②令和
- (11) ①中世 ②近代 (12) 弥生時代
- (13) 室町時代 (14) 大正時代
- (15) 平安 (16) 江戸
- (17) 壬申の乱

1 世界の古代文明と宗教の始まり①

p.7

▶ 確認問題

- (1) 猿人
- (2) 氷河時代 (3) 原人
- (4) 新人 [ホモ・サピエンス]
- (5) ①打製石器 ②旧石器時代
- (6) 土器
- (7) ①磨製石器 ②新石器時代
- (8) 農耕 (9) 牧畜
- (10) 青銅器 (11) エジプト文明
- (12) 太陽暦 (13) 象形文字
- (14) メソポタミア文明 (15) 太陰暦
- (16) くさび形文字 (17) オリент
- (18) インダス文明

解説

- (1) 直立二足歩行するようになったことで、重い脳を支えられるようになり、知能が発達した。
- (3) ジャワ原人や北京原人の化石人骨が発見されている。
- (5) 日本では群馬県岩宿遺跡で打製石器が発見された。旧石器時代には、まだ土器はなかった。
- (11) ナイル川は毎年、夏にはらんし、肥えた土を残していた。
- (13) 象形文字は、パピルスという草からつくった紙に書かれたり、神殿などの壁に刻まれたりしており、中には美しい彩色がほどこされたものもある。
- (17) オリентは「太陽がのぼる土地」という意味。

p.8

● 図表チェック ●

- 1 A 氷河 B ハンムラビ
- (1) アフリカ
- (2) ②イ ③ア ④エ
- 2 (1) A 猿人 B 原人
- C 新人 D 打製
- E 磨製 F 鉄器
- G 旧石器 H 新石器
- (2) A ナイル B 象形
- C ユーフラテス D チグリス
- E くさび形 F インダス

解説

- 1 B ハンムラビ王は紀元前1700年代の王。くさび形文字で刻まれた石碑にハンムラビ法典が残る。「目には目を」の復しゅう法で知られる。
- 2 (1) G・H 旧石器時代・新石器時代を合わせて原始時代といい、まだ文字がなかった。
- (2) F インダス川流域は、現在のパキスタン。

p.9

▶ 必修問題

- 1 (1) A 猿人 B ホモ・サピエンス
- C 農耕 D 牧畜
- E エジプト F メソポタミア
- G 太陰 H アルファベット
- (2) a ウ b ア
- (3) ①磨製石器 ②旧石器時代
- (4) d イ g ウ (5) e ウ f ア
- 2 (1) (例) 大きな川がある。／早くから農耕や牧畜が発達した。／比較的暖かい気候である。
- (2) (例) ナイル川がはらんする時期を知るため。

解説

- 1 (1) A 最も古い化石人骨は、チャドで発見された、サヘラントロプス・チャデンシス。
- (2) 新人によって洞窟や岩陰にえがかれた壁画は、ヨーロッパ・アフリカ・オーストラリア・東南アジアなどで見つかっている。
- (4) アはナイル川、エはガンジス川、オは長江。
- 2 (1) 古代文明がおこった地域は、だいたい同じ緯度にあり、主に乾燥帯から温帯に属する。
- (2) ナイル川が運ぶ肥沃な土によって豊かな収穫が得られるため、ギリシャの歴史家によって「エジプトはナイルのたまもの」といわれた。

2 世界の古代文明と宗教の始まり②

p.11

▶ 確認問題

- | | |
|-----------------|---------------|
| ■ (1) 殷 | (2) 甲骨文字 |
| (3) 春秋・戦国時代 | (4) 儒学 [儒教] |
| (5) ①秦 ②始皇帝 | |
| (6) 漢 | (7) シルクロード |
| (8) ポリス | (9) 民主政 |
| (10) ギリシャ文明 | |
| (11) アレクサンドロス大王 | |
| (12) ヘレニズム | (13) 共和政 |
| (14) ローマ帝国 | (15) シャカ [釈迦] |
| (16) ヒンドゥー教 | (17) ユダヤ教 |
| (18) キリスト教 | (19) ムハンマド |

解説

- (1) 殷墟という遺跡が発見された。
- (5) 始皇帝は最初の皇帝という意味。中国を統一した後、秦は15年でほろびた。始皇帝の墓の周りには、数多くの兵馬俑が埋められている。俑とは、中国で死者とともに埋葬された人形のこと。
- (15)(16) シャカが生まれた時代、インドにはカースト制度という厳しい身分制度があった。シャカはこれを否定し、「人はみな平等である」と説いた。仏教は中国や韓国、日本などの東アジアや、東南アジアなどにも広まったが、現在インドではヒンドゥー教徒が多い。
- (17)(18) イエスが生まれたころ、ローマ帝国の支配下にあったパレスチナではユダヤ教が信仰されていた。イエスは十字架にかけられて亡くなったため、十字架はキリスト教のシンボルになっている。
- (19) イスラム教は、ムハンマドの後継者によって北アフリカやヨーロッパにまで広まり、イスラム帝国が築かれた。

p.12

● 図表チェック ●

- | | |
|-------------|------------|
| 1 A 周 | B 孔子 |
| C アレクサンドロス | D 秦 |
| (1) 黄河 | (2) ギリシャ |
| (3) ウ | (4) 共和政 |
| 2 (1) A ローマ | B 漢 |
| C 絹 | D シルクロード |
| E 万里の長城 | |
| (2) A 仏 | B シャカ [釈迦] |
| C キリスト | D イエス |
| E イスラム | F コーラン |

解説

- 1 B 孔子は、現在の山東省南部にあった魯という国の人だった。
- (1) 中国文明では、黄河流域で粟、長江流域で稲を栽培する文明が生まれた。
- (2) 現在のパキスタンにあるガンダーラでは、ギリシャ文明の影響で、初めて仏像が作られた。それまではシャカの姿は象徴的に表されていた。
- (3) アは殷、イは秦、エはローマ帝国。
- (4) ローマは王政→共和政→帝政と移り変わった。
- 2 (1) B 漢が西方に勢力を広げたのは、他の国と同盟関係を結び、良い馬を手に入れて、北方の遊牧民に対抗するためである。
- C ローマでは、絹が大変重宝された。
- D シルクロードは、敦煌、庫車、和田などの砂漠のオアシス都市を結んでいる。
- (2) A ミャンマー・ラオス・タイなどには、仏教徒が多い。
- C キリスト教は、フランスなどヨーロッパに広がっている。
- E イランなど中東は、イスラム教徒が多い。

p.13

▶ 必修問題

- 1 (1) Aアテネ B民主 Cペルシャ
Dイタリア E共和 F皇帝
- (2) ①甲骨 ②青銅
- (3) 秦 (4) ①ヘレニズム ②エ
- (5) イ・エ
- (6) ア・ウ
- (7) ア
- 2 (1) (例) 北方の遊牧民の侵入を防ぐため。
- (2) (例) この交通路を通して絹織物が中国から西方に運ばれたから。

解説

- 1 (4) ② アレクサンドロス大王は、征服した各地にアレクサンドリアという都市を造り、ギリシャ文化を持ちこんだ。
- (5) アはエジプト文明、ウは中国の秦。
- (6) イは漢で発明された。エは中国で孔子が説いた。
- (7) パレスチナ（現在のイスラエル）である。
- 2 (1) 写真は万里の長城である。戦国時代に各国が北方の遊牧民の侵入に備えて造っていたものを秦がつないだ。後の明の時代に現在のような長城が造られた。
- (2) シルクロードの「シルク」とは絹のことである。絹がどこからどこに運ばれたのか、はっきりするように説明する。

p.14~15

- 1** (1) A 猿人 B 新人
 (2) 旧石器時代
 (3) イ
 (4) (例) 食べ物を煮て食べられるようになった。
- 2** (1) A エジプト B メソポタミア C インダス
 D 中国
 (2) ウ
 (3) ア
 (4) カ
- 3** (1) イ
 (2) ①ウ ②エ
 (3) アテネ
 (4) ①エ ②シルクロード ③ウ ④イ

解説

- 1** (1) 猿人は直立歩行を始めた最古の人類、新人は私たちの直接の祖先である。
 (2) 磨製石器を使う時代は、新石器時代という。
 (3) ヨーロッパには、中東を通して、陸伝いに広がった。日本列島に人類がやってきた約4~3万年前は氷河時代で、海面が今より低く、陸続きだった。
 (4) 土器の発明により、それまで食べられなかったものを煮て食べられるようになり、貯蔵もできるようになった。
- 2** (2) ピラミッドは巨大な建造物で、多くの人を働かせ、資材を調達できる権力を持つ者がいたことがわかる。
 (3) 殷の青銅器は、重量があり、細かい文様がほどこされていて種類も多い。
- 3** (2) ②メッカはイスラム教の聖地。
 (3) 写真は、ギリシャのアテネにあるパルテノン神殿。ギリシャの都市国家はポリスと呼ばれ、丘の上の神殿を中心に造られた。
 (4) ①Xは万里の長城。武帝は漢の皇帝。②シルクロードは、砂漠のオアシス都市を結んでいた。中国から西方に絹が、西方から中国に馬やぶどうが伝えられた。③ローマ帝国と漢との間にはいくつかの国がある。④アはインドに広まった。ウはキリスト教の一派で、ローマ帝国が東西に分裂した後、東ローマ帝国で広まった。

3 日本の成り立ち

p.17

▶ 確認問題

- (1) 打製石器 (2) 縄文土器
 (3) 貝塚 (4) たて穴住居
 (5) 土偶 (6) 稲作
 (7) 高床倉庫 (8) 弥生土器
 (9) 奴国
 (10) ①邪馬台国 ②卑弥呼
 (11) 朝貢
 (12) ①大和政権 ②大王
 (13) 古墳 (14) 前方後円墳
 (15) 埴輪 (16) 百濟
 (17) 新羅 (18) 渡来人

解説

- (1) 氷河時代の日本は旧石器時代であった。
 (2) 縄文土器は厚手でもろく、黒褐色をしている。複雑なかざりのついたものもある。
 (3) 貝塚の分布から、当時の海岸線を推測することができる。また、貝塚からは、貝がらだけではなく、動物の骨や木の実のから、土器の破片などが出土し、当時の人々の生活を知ることができる。
 (5) 土偶は魔よけやまじないに使われたと考えられている。
 (6) 稲作は東北地方にまで広がった。
 (7) 湿気を防ぐために高床にし、ねずみ返しというねずみの侵入を防ぐ仕組みがあった。
 (9) 「漢委奴国王」と刻まれた金印が、江戸時代に福岡県の志賀島で発見された。
 (10) 卑弥呼はまじないをよくし、人々を従えた、と中国の歴史書に書かれている。
 (15) 埴輪には円筒型のものや、人物・馬・家・船などをかたどったものがあり、当時の様子を知ることができる。

p.18

● 図表チェック ●

- 1** A 魏 B 宋 [南朝]
 (1) 旧石器時代 (2) 九州
 (3) 金印 (4) 渡来人
- 2** (1) A 打製 B 縄文
 C 土偶 D 弥生
 E 銅鐸 F 埴輪
 (2) A 九州 B 大仙
 C 近畿 D 関東
 E 大王 F 大和

解説

- 1 B 遊牧民の北朝と、漢民族の南朝は、いくつか国が交代したが、このとき、南朝は宋という国だった。
- (2) 福岡県の板付遺跡などから、水田の跡や、農業に使ったと考えられる道具が発見されている。
- 2 (1)A・B 縄文時代には磨製石器も使われた。
E 銅鐸は青銅器の一種。
- (2)A～C 前方後円墳にほうむられた人物は、大和政権と深い関係があったと考えられている。
E・F ワカタケル大王は、中国の宋(南朝)に使いを送った倭王武と同一人物と考えられている。

p.19

▶ 必修問題

- 1 (1) A貝塚 B青銅器 C鉄器 D卑弥呼
E銅鏡 F大和政権
- (2) エ (3) たて穴住居 (4) 高床倉庫
- (5) 魏志倭人伝 (6) 前方後円墳
- (7) ①あ高句麗 い百済 う新羅
え伽耶 [任那]
②イ
- 2 (1) (例) 氷河時代が終わって陸地の氷がとけ、海面が上昇したから。
- (2) (例) 倭の王としての地位を認めてもらい、朝鮮半島の国々より優位に立つため。

解説

- 1 (1)E 日本各地で発見される三角縁神獣鏡という鏡が、このときのものではないかと考えられている。
- (2) この土器は縄文土器で、もろくて黒っぽい。イウは弥生土器の特徴。
- (5) 魏志倭人伝は、正確には「三国志」のうち魏書の倭人について書かれた章のことである。
- (6) 古墳には、円墳や方墳などもあり、大きさもさまざまである。
- (7) ②イは縄文文化。渡来人はため池づくりなどの土木技術も伝え、鉄製の農具を広めた。
- 2 (1) 氷河時代が終わるとどうなるか考える。気温が上昇し、陸地の氷がとける。
- (2) 中国の南朝の宋の歴史書である「宋書」には、倭の様子と讃・珍・済・興・武の5人の王(倭の五王)の名が見られる。倭王武が中国の皇帝に送った手紙には、祖先の功績とともに、「今度こそ高句麗を破ろうと思いますので、わたしに高い位をあたえて激励してください。」とあった。

4 古代国家の歩み①

p.21

▶ 確認問題

- 1 (1) 律令 (2) 戸籍
- (3) 蘇我氏
- (4) 聖徳太子 [厩戸皇子]
- (5) 冠位十二階 (6) 十七条の憲法
- (7) 遣隋使 (8) 飛鳥文化
- (9) ①法隆寺 ②釈迦三尊像
- (10) 遣唐使 (11) 朝廷
- (12) ①中大兄皇子 ②中臣鎌足
- (13) 大化の改新 (14) 公地・公民
- (15) 白村江の戦い (16) 壬申の乱
- (17) 天武天皇 (18) 藤原京

解説

- 3 蘇我氏は仏教の受け入れをめぐって、対立する物部氏を破った。
- (5) 冠位十二階では、位を、大小の徳・仁・礼・信・義・智の12に分け、それぞれかんむりの色を濃淡の紫・青・赤・黄・白・黒で示した。
- (6) 十七条の憲法は、儒学や仏教の教えを取り入れている。
- (7) 遣隋使は数回送られた。607年に小野妹子らが派遣された際、隋と対等な立場での国交を求める手紙を送り、隋の皇帝煬帝を怒らせたという。
- (9) 法隆寺には五重塔や金堂などの建物や、釈迦三尊像、百済観音像などの仏像、玉虫厨子などの工芸品が残り、世界遺産に登録されている。
- (10) 唐は618年に中国を統一し、907年にほろびた。
- (12) 中大兄皇子は後に天智天皇となり、中臣鎌足は後に藤原の姓をたまわった。
- (18) 藤原京は中国の都にならぬ、道路によって碁盤の目のように区画されていた。

p.22

● 図表チェック ●

- 1 A 冠位十二階 B 小野妹子
C 中大兄皇子 D 持統
- (1) 飛鳥文化 (2) 役人
- (3) 蘇我氏 (4) 公地・公民
- 2 (1) A用明 B推古
C馬子 D天智
E入鹿 F天武
- (2) A唐 B新羅
C百済 D高句麗
E白村江

解説

- 1 (1) 飛鳥は、奈良盆地南部の地名。
 (2) 豪族の争いを止めさせ、天皇中心の国を造ろうとした。
- 2 (1) A・B 聖徳太子の父の用明天皇は推古天皇の兄である。また蘇我馬子の姉が、欽明天皇のきさきとなり、生まれた子が推古天皇で、推古天皇は、馬子のめいにあたる。
 D・F 天智天皇と天武天皇は、同じ両親から生まれた兄弟である。また、天武天皇のきさきとなった持統天皇は、天智天皇の娘である。
 (2) B 新羅は、後に唐の軍勢を朝鮮半島から追い出し、半島を統一した。

p.23

必修問題

- 1 (1) A隋 B唐 C中臣鎌足 [藤原鎌足] D大化の改新 E壬申の乱 F律令
 (2) 法隆寺
 (3) ①ウ ②ア ③エ
 (4) あ百済 い新羅
 (5) 天智天皇
 (6) ウ
- 2 (1) (例) 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てる制度。
 (2) (例) それまで豪族が支配していた土地と人々を、国家が直接支配すること。

解説

- 1 (3) ①和を大切にし、「さからう」(反抗する) ことがないようにしなさい。②「法」とは仏教の教えのことである。③「詔」とは天皇の命令のことで、「つつしめ」とは「守れ」という意味である。
 (6) ア・エは天智天皇、イは持統天皇が行った。
- 2 (1) それまでは、蘇我氏は財政担当などというように、氏ごとに役目が決まっていた。
 (2) 公地の「地」が土地、公民の「民」が人々を示すので、「公」が何を意味するか考える。

定期テスト 得点 UP 問題 3・4

p.24~25

- 1 (1) W土偶 X銅鐸 Y埴輪 Z法隆寺
 (2) Aエ Bア (3) ウ (4) エ
 (5) イ (6) 渡来人
- 2 (1) イ (2) 卑弥呼
 (3) ①大和政権 ②ウ
 (4) ①エ ②十七条の憲法 ③ア・ウ
 (5) ① (例) 蘇我氏をたおして、天皇を中心とした国づくりを進めるため。 ②公地・公民
 (6) イ→ア→ウ

解説

- 1 (2) 三内丸山遺跡は青森県、吉野ヶ里遺跡は佐賀県にある。
 (3) Xたて穴住居は、浅く穴を掘り、柱を立てて屋根をかけた。高床の建物は、湿気や動物の侵入を防ぐ倉庫に用いられた。Y貝がらは残りやすいので目立つが、ほかにも動物の骨や木の実などが発見された。ため池を造る技術は、古墳時代に渡来人が伝えた。
 (4) 狩りは旧石器時代から行っていた。資料の石器は石包丁という。当時は、稲を根元から取り取るのではなく、穂先を石包丁で取り取っていた。
 (5) 山陰の島根県東部にも古墳が集中している地域がある。この地域は、古くは出雲と呼ばれ、近年、埋められていた大量の銅鐸や銅剣が発見されたことから、強い勢力があったことをうかがわせる。
 (6) 法隆寺の釈迦三尊像などの仏像は、渡来人の子孫が造った。
- 2 (1) 倭の奴国^{わか の ぬくに}のことは「後漢書」東夷伝、邪馬台国^{よまたいこく}のことは魏志倭人伝、遣隋使のことは「隋書」倭国伝^{わこくでん}に書かれている。
 (3) ①倭王武^{わおうぶ}は、雄略天皇、ワカタケル大王と同一人物と考えられている。②「高句麗を破ろう」「高い位をあたえて…ください」とある。
 (4) ①ア入鹿^{いるか}は蝦夷^{えみし}の子。イ推古天皇は馬子の姉妹の子(めい)。ウ聖徳太子^{しょうとくたいし}は推古天皇の兄弟の子(おい)。③冠位十二階^{かんいじゅうにかい}以前は、氏ごとに役割が決まっていた。
 (6) ア天武天皇^{てんむてんじ}は天智天皇の弟で、672年の壬申の乱に勝った後即位した。イ天智天皇は、大化の改新^{たいか}を行った中大兄皇子^{なかのおえのおうじ}が即位してなった天皇。ウ持統天皇^{じとう}は天武天皇のきさきで、天武天皇の死後に即位。

5 古代国家の歩み②

p.27

▶ 確認問題

- | | |
|----------------|-----------|
| ■ (1) 大宝律令 | (2) 律令国家 |
| (3) 貴族 | (4) 平城京 |
| (5) 奈良時代 | (6) 国司 |
| (7) 口分田 | (8) 租 |
| (9) ①調 ②庸 | (10) 防人 |
| (11) 墾田永年私財法 | (12) 荘園 |
| (13) 聖武天皇 | (14) 天平文化 |
| (15) ①東大寺 ②正倉院 | |
| (16) 日本書紀 | (17) 風土記 |
| (18) 万葉集 | |

解説

- (3) 貴族は都に屋敷を建て、地方から納められた魚や肉などを食べていた。
- (4) 平城京は現在の奈良県奈良市に造られた。
- (7) 良民の6歳以上の男子には2段(約2300㎡)の口分田、女子にはその3分の2が支給された。賤民男女には良民男女の3分の1の口分田が支給された。
- (10) 防人には主に東国の兵士があてられ、その往復の費用も重い負担だった。
- (14) 天平とは、聖武天皇のころの元号である。
- (16) 「日本書紀」は、神々の時代から持統天皇の時代までを記している。
- (17) ほぼ完全に現存するものは「出雲国風土記」だけ。他に常陸・播磨・豊後・肥前のものが不完全ながら残っている。
- (18) 「万葉集」は20巻からなり、約4500首の歌が収められている。

p.28

●図表チェック●

- | | |
|---------------|---------|
| 1 A 和同開珎 | B 遣唐使 |
| C 三世一身 | D 国分寺 |
| E 永年私財 | F 鑑真 |
| (1) a 長安 b 奈良 | (2) 古事記 |
| (3) 東大寺 | (4) 行基 |
-
- | | |
|------------|-------|
| 2 (1) A 国司 | B 駅 |
| C 馬 | D 郡司 |
| E 大宰府 | F 多賀城 |
| (2) A 租 | B 調 |
| C 庸 | D 雑徭 |
| E 防人 | F 木簡 |

解説

- 1 F 鑑真(かいりつ)は唐の高僧で、5度の遭難(さいなん)で失明しながらも来日し、戒律(かいりつ)という正しい僧(そう)の資格(しやく)をあたえる制度を日本に伝えた。後に唐招提寺(とうしやうだいじ)を建てた。
- (1) 長安(せいあん)は、現在の西安(せいあん)で、当時は世界各国(とうしやうだいじ)から使節(しせつ)や商人(しやうじん)が集まる国際都市(こくさいとし)だった。
- (2) 「古事記」は、神話・伝説(でんせつ)や推古天皇(すいこてん)までの歴史(れきし)を記している。
- (4) 朝廷(てんてい)は仏教(ぶつこう)を一般(いぱん)の人に広めることを禁(い)じ、最初は行基(ぎょうき)の行動(こうどう)を取りしまろうとしたが、後に高い位(ゐ)をあたえて大仏造り(だいつくぞうり)に協力(きやうりき)させた。
- 2 (1) 多くの国(くに)は、五畿(ごき)と呼ばれる1つの地域(ちいき)と、7つの道(みち)に分けられた。五畿(ごき)とは畿内(き)ともいい、平城京(へいじやうきやう)のある大和国(やまと)とそのまわりの4つの国(くに)をいう。道路(だうぢ)は、役人(やくじん)のほか、税(ぜい)を納め(な)に都(みやこ)に行く人(ひと)も利用(りよう)した。
- (2) F 木簡(こくせん)は、荷物(にもの)の荷札(にものせき)に使(つか)われるほか、当時(たうじ)貴重(じゆう)だった紙(かみ)のかわりに用(もち)いられ、ここに書(か)かれた文字(もじ)から、当時(たうじ)の生活(せいかう)をうかがうことができる。

p.29

▶ 必修問題

- 1 (1) A唐(たう) B奈良(なら) C太政官(たうぢくわん) D戸籍(こせき) E口分田(くちぶんでん) F天平(へいへい)
- (2) ①律(りつ) ②令(れい)
- (3) エ
- (4) cウ dイ
- (5) 班田收授法(はんでんしゆうじゆのほう)
- (6) ①万葉集(まんやふしゅう) ②防人(ぼうじん)
- (7) ア・エ
- 2 (1) (例) 貴族(きしやく)・寺社(てらしゃ)が周(まわ)りの農民(のうじん)を使(つか)って開墾(かいげん)を行い、私有地(しゆゆち)を広(ひろ)げていったから。
- (2) (例) 仏教(ぶつこう)の力(ちから)にたよって国家(こくが)を守ること。

解説

- 1 (1) D 戸籍(こせき)には戸主(こしゆ)とその家族(かぞ)の名前(な)を、年齢(ねんれい)などが記(き)されていた。
- (3) 工都(こうと)の中に、東市(とうし)と西市(せいし)があった。
- (7) イは飛鳥文化(あすかぶん)のことである。天平文化(へいへいぶん)は平城京(へいじやうきやう)を中心(ちゆうしん)に栄(さか)えた。ウ日本(にっぽん)独自の文化(ぶん)ではなく、唐(たう)の影響(えいぎやう)を強く受(う)けていた。
- 2 (1) 「墾田永年私財法(げんてんえいねんしさいほう)」という名前(な)から考(かん)える。公地(こうち)・公民(こうみん)では、土地(ち)は全(ぜん)て国家(こくが)が支配(しはい)していた。
- (2) 聖武天皇(せいぶてん)のころ、都(みやこ)では疫病(えきびやう)の流行(りやう)や貴族(きしやく)の反乱(はんらん)が起(お)こり、地方(ちほう)ではききんが続(つ)いた。

p.30~31

- 1 (1) 大宝律令
 (2) ①太政大臣 ②国司
 (3) 和同開珎
 (4) (例) 道路で碁盤の目状に区画されている。
 (5) (例) 唐の進んだ制度や文化を学ぶため。
 (6) ウ・オ (7) 聖武天皇
- 2 (1) A調 B庸 (2) 防人
 (3) ①班田收授法 ②X5 Y2
 (4) エ
- 3 (1) イ (2) 正倉院 (3) 鑑真
 (4) 天平文化

解説

- 1 (1) 大宝律令の完成により、日本は法律に従って政治を行う律令国家となった。
 (2) ①二官は神祇官と太政官。太政大臣は、天皇に次ぐ高い位である。②郡司には地元の豪族が、里長には有力な農民が任命された。
 (3) 和同開珎以前に、富本銭が造られたが、発見例が少なく、実際に使われたかはわからない。
 (4) 東西の道路を条、南北の道路を坊という。奈良市には現在も、一条通り、三条通りなどの地名が残っている。
 (6) ウ資料4の「またあれてしまう」から、三世一身法がうまくいかなかったことがわかる。才壘田永年私財法で私有地を認めたことで、公地・公民はくずれた。
- 2 (3) ②租は6歳以上の男女なので、全員が納める。雑徭は17~65歳の男子なので、2人。
 (4) エは貴族の食事で、調として納められた地方の特産物などを数種類食べていた。農民の食事は主に玄米と塩、野菜の汁などの質素なものだった。
- 3 (1) 奈良時代には、朝廷の命令で、歴史書や地理書がまとめられた。
 (2) 正倉院は東大寺の倉で、校倉造という建築方法で建てられている。「五絃の琵琶」にはらくだとなつめやしの装飾が施され、「白瑠璃碗」は同じようなものがイランから出土している。
 (4) 天平は、聖武天皇のころの元号。天平文化の特色は、仏教と唐の影響が強く、国際色豊かな文化であること。

p.33

確認問題

- 1 (1) 桓武天皇 (2) 平安京
 (3) 征夷大將軍 (4) 最澄
 (5) 空海 (6) 菅原道真
 (7) 藤原氏 (8) 摂政
 (9) 関白 (10) 摂関政治
 (11) 藤原道長 (12) 宋【北宋】
 (13) 高麗 (14) 国風文化
 (15) 仮名文字 (16) 古今和歌集
 (17) ①源氏物語 ②枕草子
 (18) 浄土信仰 (19) 平等院鳳凰堂

解説

- 2 (2) 平安京は、現在の京都府京都市に造られた。明治時代に首都が東京に移されるまで、約1100年間日本の首都だった。
 (4)・(5) 最澄は伝教大師、空海は弘法大師ともいう。空海は書がうまいことでも有名で、「弘法も筆の誤り」ということわざはここからきている。
 (6) 菅原道真は藤原氏によって大宰府に左遷され、その地で亡くなった。たたりをおそれた朝廷によって神としてまつられた道真は、学問の神様として今も信仰を集めている。
 (15) 平仮名と片仮名を合わせて仮名文字という。漢字を真名というのに対する呼び名である。
 (16) 「古今和歌集」は20巻約1100首からなり、漢字と仮名文字が用いられている。
 (17) 「源氏物語」や「枕草子」、絵巻物からは、当時の貴族の生活ぶりがうかがえる。
 (19) 平等院鳳凰堂には阿弥陀如来の像が収められている。

p.34

図表チェック

- 1 A 長岡京 B 坂上田村麻呂
 C 天台 D 真言
 E 遣唐使 F 紀貫之
 G 清少納言 H 紫式部
 I 摂政
 (1) a 国司 b 班田收授法
 (2) 蝦夷
- 2 (1) A 寝殿造 B 藤原道長
 C 娘 D きさき
 (2) A 平等院鳳凰堂 B 浄土
 C 阿弥陀 D 摂関
 E 藤原頼通

解説

- 1 A 長岡京は、平城京の北30kmほどのところに造られたが、造営の途中で、工事責任者が亡くなったり、不吉なできごとが続いたりしたため、わずか10年で放棄された。
- E 遣唐使が停止されたのは、貿易船が行き来するようになって、大陸と交流する別の手段ができたことにもよる。
- F 紀貫之は、女性のふりをして、平仮名で「土佐日記」を著した。
- 2 (1) A 中央の寝殿とその他の建物とが、渡殿と呼ばれる廊下で結ばれていた。
- (2) B・C 浄土信仰は、阿弥陀如来を信仰する教えである。平等院鳳凰堂だけでなく、各地に阿弥陀堂が造られた。

p.35

▶ 必修問題

- 1 (1) A 桓武天皇 B 平安 C 関白
D 紫式部 E 清少納言 F 大和
- (2) ア
- (3) b 宗派—天台宗 寺—エ
c 宗派—真言宗 寺—イ
- (4) あ 宋〔北宋〕 い 高麗
- (5) ウ
- 2 (1) (例) 自分の娘を天皇のきさきにし、生まれた子を次の天皇に立て、自分は摂政になった。
- (2) (例) 念仏を唱え、阿弥陀如来にすがって、死後に極楽浄土に生まれ変わることを願う信仰。

解説

- 1 (2) アは奈良時代に出された。
- (3) 延暦寺は比叡山、金剛峯寺は高野山にあり、いずれも山奥である。天台宗や真言宗は、皇族や貴族のために加持祈とうを行って、信仰を集めた。ア・ウは、奈良時代に平城京に建てられた寺。
- (5) 「望月」とは満月のことである。
- 2 (1) 摂政・関白は、天皇の代理や天皇の補佐として政治を行う役職で、天皇との関わりが深い。藤原氏は天皇の親戚になることでそれらの高い位に就いた。
- (2) 浄土とは、けがれた現世に対する、清浄な死後の世界のこと。この世界を信じるとはどういうことか考える。

定期テスト 得点UP問題 6

p.36~37

- 1 (1) 桓武天皇
(2) X (例) 男性が女性より極端に少ない
Y (例) 男性は女性より負担が重い
(3) ウ (4) B 摂政 C 関白 (5) イ
(6) ア (7) エ
- 2 (1) ① A 天台 B 真言 ② a ア b エ ③ イ
(2) ① (例) 万葉集は漢字の音で一字一音を表し、古今和歌集では平仮名で書き表している。
② C 紫式部 D 清少納言
(3) ① 寝殿造 ② イ
(4) ア

解説

- 1 (2) 租は男女とも納めたが、調や庸は成年男子のみに課せられた。
- (3) 胆沢城が東北地方にあることから考える。東北地方には朝廷に従わない人々がいて、蝦夷と呼ばれた。坂上田村麻呂は征夷大將軍に任命され、蝦夷を平定した。
- (4) 摂政・関白の位に就いて政治を動かしたことから、藤原氏が行った政治を、摂関政治という。
- (5) アは奈良時代に遣唐使とともに唐にわたり、唐で位の高い役人になったが、帰国を果たせず亡くなった。ウは「古今和歌集」をまとめ、「土佐日記」を書いた。エは飛鳥時代に遣隋使として派遣された。
- (6) 新羅がほろんで高麗にかわり、唐がほろんだ後、五つの王朝がかわり、宋が建国された。
- (7) 娘と天皇との間に生まれた子を次の天皇にしたので、道長は天皇の祖父になった。
- 2 (1) ② 比叡山延暦寺(滋賀県)は、「古都京都の文化財」、高野山金剛峯寺(和歌山県)は、「紀伊山地の霊場と参詣道」という世界遺産にふくまれている。③ 藤原頼通が京都の宇治に建てた。
- (2) ① 「万葉集」は万葉仮名で書かれている。平安時代に、仮名文字が発明され、日本語の発音を書き表しやすくなった。② 紫式部も清少納言も、朝廷で天皇のきさきに仕えた女官。
- (3) ① 中央にある主屋を寝殿という。② やぐらは見られない。
- (4) 平安時代の文化は国風文化と呼ばれる。

7 武士の台頭と鎌倉幕府の成立

p.39

▶ 確認問題

- | | |
|-------------------|-----------|
| ■ (1) 武士団 | (2) 源氏 |
| (3) 平氏 | (4) 奥州藤原氏 |
| (5) ①上皇 ②院政 | |
| (6) 保元の乱 | (7) 平治の乱 |
| (8) 平清盛 | (9) 源頼朝 |
| (10) ①守護 ②地頭 | |
| (11) 鎌倉幕府 | (12) 御家人 |
| (13) 御恩 | (14) 奉公 |
| (15) 執権 | (16) 承久の乱 |
| (17) 六波羅探題 | |
| (18) 御成敗式目 [貞永式目] | |

解説

- (5) 上皇やその住まいのことを「院」という。院政は、摂関政治を行ってきた藤原氏の勢力をおさえるために始められたが、政治の実権をめぐって上皇と天皇が対立するようになった。
- (6) 保元の乱で、ともに後白河天皇に味方して勝利した側の平清盛と源義朝が、平治の乱で対立した。武力に勝る平清盛が勝利した。
- (8) 平清盛は娘を天皇のきさきとしてその子を天皇の位に就け、藤原氏と同じような政治を行った。
- (9) 源頼朝は、平治の乱に敗れた後、伊豆に流されていた。
- (13) 守護や地頭に任命することも御恩の一種である。武士は命がけて領地を守ったので、「一所懸命」という言葉が生まれた。

p.40

● 図表チェック ●

- | | |
|-------------------|----------|
| ① A 平将門 | B 藤原純友 |
| C 院政 | D 太政大臣 |
| E 源義経 | F 征夷大將軍 |
| G 後鳥羽上皇 | H 北条泰時 |
| (1) 源氏 | (2) 僧兵 |
| (3) a 国 b 莊園 c 公領 | |
| (4) 執権政治 | |
| ② (1) A 平泉 | B 中尊寺金色堂 |
| C 鎌倉 | D 嚴島 |
| E 壇ノ浦 | |
| (2) A 幕府 | B 執権 |
| C 六波羅探題 | D 守護 |
| E 地頭 | |

解説

- ① D 太政大臣は、朝廷の政治を行う最高の位である。
F 征夷大將軍は、もとは坂上田村麻呂のように、蝦夷討伐の軍の司令官のこと。
- (2) 京都に近い比叡山延暦寺や奈良の興福寺は多くの僧兵をかかえ、朝廷に押しかけて要求を通すなどした。
- ② (2) 幕府の仕組みは一度にできたものではなく、次第に整えられていった。そのため鎌倉幕府成立の年は1183年（頼朝が東日本の支配権を朝廷に認められた）、1185年（守護・地頭を置いた）、1192年（頼朝が征夷大將軍に任命された）と諸説ある。

p.41

▶ 必修問題

- ① (1) A 武士 B 領主 C 国司
D 年貢 E 守護 F 地頭
G 承久
- (2) エ
- (3) ①御恩 ②領地 ③奉公
- (4) c イ d カ e ア g オ
- (5) 北条政子
- ② (1) (例) 天皇が位をゆずって上皇となっても政治を行うこと。
- (2) (例) 幕府は、京都に六波羅探題を置いて朝廷を監視し、西日本も支配するようになった。

解説

- ① (2) アは奥州藤原氏、イは平安時代の桓武天皇、ウは飛鳥時代の中大兄皇子が行った。
- (3) このような土地を仲立ちとした主従関係を封建制度という。
- (4) cは神奈川県鎌倉市、dは山口県下関市、eは岩手県、gは島根県である。ウは源義仲の拠点の木曾、エは平清盛が整備した兵庫の港がある神戸、キは大宰府の位置である。
- ② (1) 位を退いた「天皇」が「上皇」となることと、その上皇が政治の実権をにぎっていることをおさえる。
- (2) 鎌倉幕府は東日本では力を持っていたが、朝廷や西日本には幕府に従わない者も多かった。承久の乱によって、幕府がこれらを支配下に置いた様子を記述する。

8 鎌倉時代の暮らしと文化

p.43

▶ 確認問題

- (1) 地頭 (2) 年貢
 (3) 下地中分
 (4) 弓馬の道 [武士の道]
 (5) 惣領 (6) 分割相続
 (7) 二毛作 (8) 定期市
 (9) ①金剛力士像 ②運慶
 (10) 新古今和歌集 (11) 方丈記
 (12) 徒然草
 (13) ①平家物語 ②琵琶法師
 (14) 浄土宗 (15) 浄土真宗
 (16) 時宗 (17) 日蓮宗 [法華宗]
 (18) 禅宗

解説

- (2) 平安時代の半ばには班田収授法は行われなくなり、租・調・庸の税もなくなった。
 (5) 惣領が率いる武士団をたばねる総大将が棟梁で、源頼朝以降、征夷大將軍が武士の棟梁を意味する役職となった。
 (6) 領地の分割相続により、所有する土地の面積がせまくなり、生活が苦しくなったため、領地を質入れしたり売ったりする武士が増えた。そのため、鎌倉時代の後半には、あとつぎが単独で相続することになった。
 (8) 定期市では物々交換が行われるほか、宋銭も使われた。物売りには女性が活躍した。
 (13) 「平家物語」の冒頭の部分は、栄華をほこった平氏もたやすくほろぶことを表現している。

p.44

● 図表チェック ●

- ① (1) A 法然 B 親鸞
 C 一遍 D 日蓮
 E 栄西 F 道元
 (2) A 似絵 B 後鳥羽
 C 鴨長明 D 兼好法師
 E 平家物語
 ② (1) エ
 (2) A 南大門 B 宋
 C 運慶

解説

- ① (1) A 法然は京都を中心に布教し、女性の信者も多かった。迫害を受け、四国に流された。

B 親鸞は、「悪人こそ救われる」と説いたが、やはり迫害され、朝廷によって越後(新潟県)に流された。その教えは武士や農民に広まり、後に一向宗と呼ばれる大きな勢力になった。

D 日蓮は、幕府によって伊豆(静岡県)や佐渡(新潟県)に流されたが、その教えは武士や商工業者の間に広まっていった。

E 栄西は中国から茶を伝えたことでも知られる。

(2) A 平安時代の和絵では、人物をえがくときに個性は表現されず、顔つきがみな同じであった。

C・D 鴨長明も兼好法師も、神職の家に生まれ、後に出家して僧になった。

- ② (1) 動物は武芸の訓練に使った。馬に乗って犬を追いかけたり(犬追物)、馬上で鷹を使って狩りを行ったりした。馬で走りながら的を弓矢で射る流鏑馬も行われた。

(2) C 金剛力士像は高さが約8.4mある。

p.45

▶ 必修問題

- ① (1) A 鎌倉 B 京都 C 年貢 D 禅宗
 (2) ア
 (3) エ
 (4) ①新古今和歌集 ②ア
 (5) ①平家物語 ②兼好法師
 (6) ①エ ②イ ③ア ④ウ

- ② (1) (例)地頭の力が領主と同じくらいになった。
 (2) (例)わかりやすく、実行しやすい教えであったから。

解説

- ① (1) D 幕府は、臨済宗の寺院を建てたり、南宋から僧を招いたりした。
 (3) エは弥生時代に日本に稲作が伝わったころから行われていた。
 (4) ②イの大伴家持は奈良時代の「万葉集」の歌人、ウは平安時代の人物、エは平安時代の「古今和歌集」の編者で歌人である。
 (5) ①「平家物語」は漢字仮名交じりの力強い文章で書かれている。

- ② (1) 地頭はもともと、犯罪の取りしまりや年貢の取り立てを行うだけだったが、資料では、領地の半分を自分のものにしたことがわかる。
 (2) 平安時代に空海や最澄が伝えた仏教は、山奥での厳しい修行や学問を重視するものだった。それに比べ、「南無阿彌陀仏」の念仏や「南無妙法蓮華経」の題目を唱えればよい新しい仏教が、民衆にとってどう受け止められたかを記述する。

p.46~47

- 1 (1) ウ (2) 院政 (3) ウ→ア→イ
 (4) ①カ ②イ
 (5) (例) 御家人が戦いに参加すること。／御家人が京都や鎌倉の警備をすること。
 (6) 執権 (7) 後鳥羽
 (8) ①エ ②エ
 (9) 御成敗式目 [貞永式目]
- 2 (1) イ (2) ウ (3) ア (4) イ
 (5) 金剛力士像
 (6) ①A 浄土宗 C 時宗 ②親鸞 ③カ
 ④ (例) 座禅によって、自らの力でさとりを開く。

解説

- 1 (1) 源義家は東北地方の反乱をしずめた。藤原鎌足は大化の改新で活躍した中臣鎌足のこと。
 (2) 白河天皇は上皇となってからも院で政治を行った。
 (3) 1156年、京都で保元の乱が起こり、平清盛・源義朝が味方した側が勝利した。1159年、平治の乱で平清盛と源義朝が戦い、清盛が勝った。平氏が政権をにぎったが、ほかの武士の不満が高まり、源氏が挙兵して、1185年、源義経が平氏をほろぼした。
 (6) 源氏の将軍が3代で絶えた後、京都から形ばかりの将軍を迎えて、北条氏が執権政治を行った。
 (7) 敗れた後鳥羽上皇は、隠岐(島根県)に流された。
 (8) ①承久の乱の前、幕府の勢力範囲は東日本が中心であったが、乱後は、西日本にも多く幕府の任命した地頭が置かれ、支配が広がった。
 (9) 御成敗式目は、執権北条泰時が定めた裁判の基準となる法律で、長く武家法の手本とされた。
- 2 (1) イ女子にも相続権があり、女性の地頭もいた。
 (2) ウ荘園領主に材木を納め、地頭に労役を課せられている。
 (3) 「徒然草」は、兼好法師が書いた随筆。
 (4) アは平安時代、ウは奈良時代の歌集。
 (5) 阿形と畔形の二体が門の左右に収められている。
 (6) ④禅宗の考えは武士の気質に合い、禅宗は幕府の保護を受けた。鎌倉にある建長寺や円覚寺は、禅宗の寺である。

p.49

▶ 確認問題

- 1 (1) 遊牧民
 (2) ①チンギス・ハン ②モンゴル帝国
 (3) フビライ・ハン (4) 元
 (5) ①高麗 ②宋[南宋] (6) ユーラシア
 (7) イスラム教 (8) マルコ・ポーロ
 (9) 北条時宗 (10) 元寇
 (11) 文永の役 (12) 火薬
 (13) 弘安の役 (14) 分割相続
 (15) 徳政令 [永仁の徳政令]
 (16) 悪党 (17) 後醍醐天皇
 (18) 足利尊氏

解説

- 2 (2)・(3) 「ハン」はモンゴル民族の皇帝の位。フビライ・ハンは、チンギス・ハンの孫にあたる。
 (4) モンゴル帝国は、チンギス・ハンの死後、いくつかの国に分かれた。フビライ・ハンは中国あたりの領土を受けついだ。
 (5) ①高麗は新羅をほろぼして936年朝鮮半島を支配した。元の滅亡後も1392年まで続いた。
 ②元が建てられる前、中国北部にあった宋は都を南部に移して南宋と呼ばれるようになった。それに対し、都を移す前の宋は北宋とも呼ばれる。
 (7) イスラム教はアラビア半島で生まれ、北アフリカから中央アジアにまで広がっていた。
 (8) マルコ・ポーロはイタリアのベネチアという都市の商人で、元に来てフビライに仕えた。帰国後、別の都市との戦争で捕虜になり、獄中で語った内容がまとめられたのが「世界の記述」である。
 (9) 北条時宗は第8代執権である。
 (11) 1274年は元号でいうと文永11年にあたる。
 (12) 火薬をつめた丸い球は「てつほう」と呼ばれたが、鉄砲とは異なるものである。
 (13) 1281年は元号でいうと弘安4年にあたる。
 (15) 徳政令はその後もたびたび出されたことから、1297年に出された徳政令を特に「永仁の徳政令」と呼ぶ。

p.50

● 図表チェック ●

- 1 A フビライ・ハン B 徳政令
 C 後醍醐
 (1) モンゴル帝国 (2) 高麗
 (3) 元寇 (4) 宋 [南宋]
- 2 (1) A チンギス・ハン B ユーラシア

- Cキリスト Dマルコ・ポーロ
 (2) A博多 B文永
 C集団 D火薬
 E御家人

解説

- 1 (3) 二度の襲来後も、元は日本への遠征を計画したが、高麗や中国南部、ベトナムで反抗が強まったため、実現しなかった。
 2 (1)C 元は、他の民族の宗教も認めたため、交流が進んだ。
 (2)E 御家人は御恩として新たな土地などの恩賞をもらうことを期待して戦った。しかし、元寇は防衛のための戦争であったため、新たな領地を得ることができなかった。そのため、ほとんどの御家人にとって恩賞は不十分だった。

p.51

▶ 必修問題

- 1 (1) Aモンゴル B執権 C悪党 D後醍醐天皇
 (2) ウ
 (3) ①文永の役 ②イ ③弘安の役
 (4) ①ア ②徳政令 [永仁の徳政令]
 (5) dイ eエ
 2 (1) (例) 陸・海の交通路が整備され、文化交流が活発になった。
 (2) (例) 集団戦法を用い、火薬を使った武器で戦った。

解説

- 1 (1)D 後醍醐天皇は、一度倒幕に失敗し、隠岐(島根県)に流された。隠岐を脱出した後醍醐天皇の呼びかけで、武士が倒幕に協力した。
 (3) ②アは鎌倉時代の承久の乱後に京都に置かれた。ウは飛鳥時代の大宝律令で正式に九州北部に置かれ、外交・軍事にあたった。エは飛鳥時代に白村江の戦いに敗れた中大兄皇子が造らせた。
 (5) アは元寇で活躍した九州の御家人。ウは平氏をほろぼした源頼朝の弟。
 2 (1) モンゴル帝国が、ユーラシア大陸の西は東ヨーロッパから東は朝鮮半島まで、1つの世界としたことから考える。
 (2) 一騎打ちに対する戦い方を説明する。「集団で戦い、火薬を用いた兵器を使った」でもよい。

10 室町幕府の成立と人々の暮らし

p.53

▶ 確認問題

- 1 (1) 建武の新政 (2) 南北朝時代
 (3) ①足利尊氏 ②室町幕府
 (4) 守護大名 (5) 足利義満
 (6) 管領 (7) 土倉
 (8) 明 (9) 倭寇
 (10) 勘合貿易 (11) 朝鮮国 [朝鮮]
 (12) 琉球王国 [琉球] (13) 中継貿易
 (14) アイヌ民族 (15) 馬借
 (16) 問 (17) 座
 (18) 惣 (19) 土一揆

解説

- 2 (2) 南北朝時代は、1336年から1392年まで続いた。
 (5) 足利義満は、朝廷の権限を吸収して幕府の力を強め、日本を治めるただ一つの政権となった。
 (7) 土倉は質屋である。酒屋とともに多くの元手がいることから資金を持っており、金貸しも行った。
 (9) 倭寇の「倭」は日本を指す言葉だが、倭寇の中には日本人以外の人々もいた。
 (12) 琉球王国は1429年に建国し、1879年に沖縄県になるまで続いた。独自の文化を発展させ、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」は世界遺産に登録されている。
 (13) 中国の陶磁器や日本の刀剣を東南アジアに運び、南方のこしょうや染料などを東アジアに運んだ。

p.54

● 図表チェック ●

- 1 A 後醍醐天皇 B 征夷大將軍
 C 土一揆 D 尚
 (1) a 貴族 b 武士 (2) 吉野
 (3) 勘合 (4) アイヌ民族
 2 (1) A 守護 B 管領
 C 侍所 D 鎌倉府
 (2) A 明 B 朝鮮国 [朝鮮]
 C 琉球王国 [琉球] D 博多
 E 堺 F 蝦夷地

解説

- 1 B 足利尊氏は、北朝から征夷大將軍に任命された。
 C 正長の土一揆では、馬借が土倉や酒屋をおそい、借金証文を破り捨てた。
 D 尚氏は沖縄にあった三つの王国のうち中山国の王となり、三国を統一して琉球王国を建てた。

(1) 後醍醐天皇は、武士の力を借りて、鎌倉幕府をほろぼしたのに、武士を軽んじた。

2 (1)A 南北朝時代、守護は、軍事費を取り立てる権限を幕府からあたえられて力を強めた。

B 管領には、細川・斯波・畠山の三氏が交替で任命され、この三氏は三管領と呼ばれた。

C 侍所の長官には、赤松・一色・山名・京極の四氏が任命され、この四氏は四職と呼ばれた。

D 鎌倉公方には、代々足利氏が就いた。

(2)A モンゴル民族の元を追い出し、漢民族が明を建てた。

B 高麗をほろぼし、朝鮮国を建てた。

C 琉球王国の首都は首里で、那覇港が中継貿易の中心となった。

p.55

必修問題

1 (1) A 定期市 B 馬借 C 問 D 座 E 酒屋

(2) 南朝一ウ 北朝一イ (3) 漢民族

(4) エ (5) ア (6) ウ (7) イ

(8) 町衆 (9) ウ

2 (1) (例) 貴族を重視する政策を採ったため、武士の不満が高まったから。

(2) (例) 正式な貿易船と倭寇の船を区別するため。

解説

1 (1)A 鎌倉時代には月3回開かれていた定期市が、室町時代には6回になった。

(2) 南朝は奈良県の吉野、北朝は京都。

(3) 漢民族は現在でも中国の人口の大部分をしめている。

(4) アは琉球王国を建てた。イは高句麗の王。ウはアイヌの首長。

(5) アは日本の輸出品。日本では正式の貨幣が発行されていなかったため、銅銭を輸入して取り引きに使った。

(6) ア・イ・エは鎌倉時代。室町時代には二毛作が広まり、肥料に牛馬のふんを使うようになった。

(7) 絹織物に使われる生糸は、蚕から作られる。桑は蚕のえさとなる。

2 (1) 建武の新政は「貴族」など朝廷に権力を取りもどすための改革だが、鎌倉幕府をたおすのに功績があったのは「武士」であったことから考える。

(2) 勘合は合い札であることから、何と何を区別するためのものかを考える。

11 戦国大名の台頭と室町文化

p.57

確認問題

- 1 (1) ①足利義政 ②応仁の乱
 (2) 山城国一揆 (3) 一向一揆
 (4) 下剋上
 (5) ①戦国大名 ②戦国時代
 (6) 城下町 (7) 分国法
 (8) 石見銀山 (9) 北山文化
 (10) 金閣 (11) 連歌
 (12) 能 (13) 東山文化
 (14) 銀閣 (15) 書院造
 (16) 水墨画 (17) 狂言
 (18) 御伽草子

解説

1 (1) 応仁の乱で京都は焼け野原になり、貴族や武士が地方に移ったことから、文化が地方にも広まった。

(6) それまでは山城を築いていたが、戦国大名は平地に石垣を築き、城を造った。

(8) 石見銀山では新しい技術で銀が精錬されて生産量が増加し、大量の銀が海外に輸出された。

(10) 金閣は3層で、1階は寝殿造、2階は寝殿造+書院造、3階は禅宗様になっている。

(12) 能は農村で行われていた猿楽を基にしている。

(14) 銀閣は2層で、1階は書院造、2階は禅宗様になっている。

(15) 書院造は現在の和風建築の基となった。

p.58

図表チェック

- 1 A 足利義満 B 国一揆
 C 一向一揆 D 足利義政
 (1) 戦国時代 (2) 明
 2 (1) A 下剋上 B 城下町
 C 分国法 D 足利
 E 石見
 (2) A 室町 B 金閣
 C 世阿弥 D 銀閣
 E 書院造 F 雪舟
 G 狂言

解説

1 C 一向一揆の「一向」は、鎌倉時代に親鸞が開いた一向宗(浄土真宗)のことである。地方の武士や民衆に広がり、信徒が団結した。

- (1) 戦国時代は、1467年の応仁の乱から、1590年に豊臣秀吉が全国統一を果たすまで、100年あまりも続いた。

- 2 (1)D ここでいう足利は、栃木県の地名。
 (2)B・D 現在、金閣は鹿苑寺、銀閣は慈照寺という寺になっている。
 C 観阿弥・世阿弥親子は、足利義満の保護を受けた。
 E 東求堂同仁齋は、銀閣と同じ慈照寺にある。
 F 雪舟は京都の寺の画僧になったが、明にわたり、水墨画を学んだ。帰国後は西日本を旅して天橋立などの風景をえがいた。

p.59

▶ 必修問題

- 1 (1) A 貴族 B 禅宗 C 茶の湯 D 連歌 E 戦国大名
 (2) aウ cア
 (3) ①エ ②イ
 (4) ウ
 (5) ア・オ
- 2 (1) (例) 家来が主人に打ち勝つ風潮。
 (2) (例) 農民や武士が、守護大名にかわって、自治を行うようになった。

解説

- 1 (1)B 禅宗は鎌倉時代に宋から日本に伝わった後、武士の気風に合い、幕府の保護を受けて栄えた。
 C 茶の湯では、後に千利休によって、わび茶の作法が大成された。
 (2) アは銀閣、ウは金閣である。イは飛鳥時代に聖徳太子が建てた法隆寺、エは平安時代に藤原頼通が建てた平等院鳳凰堂である。
 (5) 第8代将軍足利義政のあとつぎ問題で、義政の実子義尚、養子の義視が対立した。元侍所の長官の山名持豊は義尚、管領の細川勝元は義視を支持して対立した。イは平安時代の保元の乱の原因。ウについて、南北朝の動乱は第3代将軍義満のときに終わっている。エは飛鳥時代の壬申の乱の原因。
- 2 (1) 下剋上は「下」が「上」に打ち勝つという意味なので、「身分の下の方が実力で身分の上の者をたおす風潮。」でもよい。
 (2) 「農民や武士」と「守護大名」のうち、政治を行うのが、どちらからどちらにかわったか、わかるように書く。

定期テスト ◀ 得点UP 問題 9~11

p.60~61

- 1 (1) ア (2) イ→ウ→ア (3) 後醍醐天皇
 (4) エ (5) 足利義満 (6) 勘合貿易
 (7) 琉球
 (8) (例) 将軍のあとつぎ争いをめぐって、有力な守護大名が対立したこと。
 (9) 下剋上 (10) ウ
- 2 (1) (例) 分割相続で一人あたりの土地が小さくなり、武士の生活が苦しくなったから。
 (2) エ (3) ア
 (4) ①A北山 B東山 ②イ ③世阿弥 ④ウ
 ⑤雪舟 ⑥狂言

解説

- 1 (1) チンギス・ハンはモンゴル民族を統一してモンゴル帝国を建てた人物。フビライ・ハンはその孫である。北条泰時は御成敗式目を制定した第3代執権。
 (2) 1274年文永の役(一度目の元寇)、1281年弘安の役(二度目の元寇)で御家人の生活が苦しくなったため、1297年永仁の徳政令が出された。
 (3) 後醍醐天皇は、武士の力を借りて鎌倉幕府を倒し、政権を朝廷に取りもどして建武の新政を行った。
 (4) 執権は鎌倉幕府での将軍の補佐役、六波羅探題は鎌倉時代に京都に置かれた。
 (5) 第3代将軍で、幕府の力を強めた。
 (6) 倭寇と正式な貿易船とを区別するために、勘合という合い札が用いられた。
 (10) 戦国大名は、領国を自分の領地として治め、軍事力を高めようとした。
- 2 (1) 資料1では分割相続、資料2では単独相続となっている。
 (2) エ馬借は運送業者、問は運送・倉庫業者。高利貸しを営んだのは、土倉・酒屋である。
 (3) 浄土真宗のことを一向宗という。正長の土一揆は1428年、近江の馬借が土倉や酒屋をおそって借金証文を焼き捨てた。
 (4) ①北山は金閣のある京都北部、東山は銀閣のある京都東部の地域の呼び名。②金閣は3層で銀箔が貼られている。アの銀閣は2層で銀箔は貼られていない。③観阿弥・世阿弥父子は、足利義満の保護を受けた。④寝殿造は平安時代の貴族のやしきの建築様式。

12 ヨーロッパ人との出会い

p.63

▶ 確認問題

- (1) 正教会
- (2) ①カトリック教会 ②ローマ教皇
- (3) イスラム帝国 (4) オスマン帝国
- (5) 十字軍 (6) ルネサンス
- (7) 宗教改革 (8) プロテスタント
- (9) イエズス会 (10) 大航海時代
- (11) バスコ・ダ・ガマ (12) コロンブス
- (13) 植民地 (14) マゼラン
- (15) 鉄砲
- (16) ザビエル [フランシスコ・ザビエル]
- (17) 南蛮人 (18) 南蛮貿易
- (19) キリシタン大名

解説

- (1)・(2) ローマ帝国は395年に東西に分裂し、西ローマ帝国は476年にほろびたが、東ローマ帝国はギリシャを中心に存続し、ビザンツ帝国と呼ばれた。ローマ帝国で国教とされていたキリスト教も東西で異なる発展をとげ、カトリックは西ローマ帝国の流れをくんでいる。
- (6) ルネサンスは14世紀にイタリアから始まり、16世紀にはヨーロッパ各地に広がった。
- (12) コロンブスは、アメリカ大陸の東にある島に到着したが、そこをインドの一部だと信じ、「西インド諸島」と名付けた。
- (15) このころの鉄砲は火縄銃で「種子島銃」とも呼ばれた。次の弾を撃つまでに時間がかかった。
- (16) ザビエルは、山口などで熱心に布教した。

p.64

▶ 図表チェック

- 1 A インド B ルター
C カルバン D オランダ
E 天正
- (1) カトリック (2) エルサレム
(3) ウ (4) スペイン
(5) ローマ教皇
- 2 (1) Aポルトガル Bスペイン
Cバスコ・ダ・ガマ Dコロンブス
Eマゼラン Fイスラム
G戦国
(2) Aポルトガル B鉄砲
(3) Aキリスト教
Bザビエル [フランシスコ・ザビエル]

解説

- 1 B ルターは、教会ではなく、聖書の教えに重点を置いた信仰を主張した。
D カトリックの国であるスペインに対し、オランダはプロテスタントが多かった。
- (2) エルサレムは、イエスが活動し、十字架にかけて処刑された場所で、ヨーロッパから多くの巡礼者が訪れていた。
- (3) 「ダビデ」像は、イタリアのフィレンツェという都市にある。
- (4) アステカ王国は現在のメキシコ、インカ帝国はペルーあたりを中心に栄えていた。ペルーには、インカ帝国のマチュピチュ遺跡が残っている。
- 2 (1) A・B 大航海時代以前、アジアの香辛料や絹は、ムスリムの商人を通して、イタリア商人がヨーロッパに持ちこみ、非常に高値で売られていた。スペインやポルトガルは、直接アジアと貿易しようと考えた。
G 1467年の応仁の乱後、100年余り戦国時代が続いた。
- (2) 鉄砲は、戦国大名に取り入れられ、足軽鉄砲隊を組織するなど、戦い方を大きく変えた。

p.65

▶ 必修問題

- 1 (1) A十字軍 B大航海 C植民地
Dイエズス Eキリシタン
(2) エ (3) レオナルド・ダ・ビンチ
(4) cイ dア eウ
(5) あア いエ (6) エ (7) 堺
- 2 (1) (例) キリスト教を広め、アジアの香辛料などの産物を手に入れるため。
(2) (例) 宗教改革に対抗して、カトリックの教えを広める(カトリックの勢力を回復するため)。

解説

- 1 (1) A十字軍はローマ教皇の呼びかけで、ヨーロッパの王や貴族の子弟、騎士が参加した。C植民地とは、自国の領土以外で、移住や征服によって支配・開発を行う地域のこと。
(5) イは日明貿易での日本の輸出品、ウは日明貿易や南蛮貿易での日本の輸入品である。
(6) 種子島である。
- 2 (1) スペイン・ポルトガルはカトリックの国で宗教改革に対抗しようとしていたこと、香辛料はアジアで採れる産物であることから考える。
(2) イエズス会はカトリック側の組織で、カトリックを立て直すため、信者を増やそうとしていた。

13 全国統一

p.67

▶ 確認問題

- (1) 織田信長 (2) 桶狭間の戦い
- (3) 長篠の戦い (4) 安土城
- (5) 楽市・楽座
- (6) 豊臣秀吉 [羽柴秀吉]
- (7) 安土桃山時代 (8) 大阪城
- (9) ①太閤検地 [検地] ②石高
- (10) 刀狩 (11) 兵農分離
- (12) ①文禄の役 ②慶長の役
- (13) 桃山文化 (14) 狩野永徳
- (15) ①茶の湯 ②千利休
- (16) 出雲の阿国 (17) 南蛮文化

解説

- (9) 検地はそれまでも戦国大名によって行われていたが、全国的に行ったのは豊臣秀吉である。太閤とは、関白をやめた人を指す言葉である。秀吉は、朝廷から関白に任じられた。
- (11) 武士が農民になることや、農民が武士になることも禁止された。
- (12) 文禄の役では、日本軍は、朝鮮の首都漢城(ソウル)を占領したが、明の援軍におしもどされた。朝鮮も義兵を組織し、抵抗運動を続けた。慶長の役でも苦戦し、秀吉の死後、日本軍は引きあげた。
- (13) 桃山とは、秀吉が築いた伏見城あたりの地名。
- (14) 狩野永徳は「唐獅子図屏風」などの作品で有名である。狩野派と呼ばれる一派は、室町時代から江戸時代にかけて、日本の絵画の主流となった。
- (15) 千利休は、堺の豪商であった。

p.68

● 図表チェック ●

- 1 A 本能寺 B パテレン
- (1) ①ウ ②エ ③ア
- (2) 楽市・楽座 (3) 朝鮮
- 2 (1) A 桶狭間 B 長篠
- C 安土 D 比叡山延暦寺
- E 大阪
- (2) ①イ ②ア ③ウ
- (3) A 刀狩 B 年貢
- C 一揆 D 豊臣秀吉
- E 兵農分離

解説

- 1 B 日本では、キリスト教の宣教師のことを伴天連(パテレン)と呼んだ。

- (1) 今川義元は駿河(静岡県)、武田勝頼は甲斐(山梨県)の戦国大名。足利義昭は室町幕府第15代將軍で、織田信長の後押しで將軍になったが、後に対立し、京都から追い出された。

- (3) 文禄・慶長は、そのときの元号。

- 2 (1) C 安土は都に近く、琵琶湖の水運を利用できた。D 比叡山延暦寺は多くの僧兵をかかえて一大勢力を築いていた。E 大阪城は、織田信長に討たれた一向一揆の本拠地であった石山本願寺の跡に建てられた。
- (3) A 刀は、京都に建てた方広寺の大仏造立に使うという口実のもとに集められた。

p.69

▶ 必修問題

- 1 (1) A 尾張 B 室町 C 鉄砲
D 明智光秀 E 関白 F 明
G 南蛮
- (2) エ
- (3) 堺
- (4) ウ
- (5) ①ウ ②あウ ③イ ④オ
- 2 (1) (例) 商工業を活発にし、城下町の繁栄を図ること。
- (2) (例) 武士と農民の身分の区別が明らかになっていった。

解説

- 1 (1) A 豊臣秀吉も尾張の出身である。E 秀吉は朝廷の権威も借りて全国を統一した。
- (2) 安土は琵琶湖の東岸にある。アは姫路、イは大阪、ウは京都を示している。
- (4) アは朝鮮出兵の前のできごとである。イは鎌倉時代の元寇の後の様子である。エは織田信長のころ。
- (5) ①安土桃山時代、力をつけた戦国大名や大商人が文化の担い手となり、豪華で雄大な文化が生まれた。②ア浄瑠璃は、三味線の弾き語りである。中国の三弦という楽器が、琉球で三線という楽器になり、それが日本に伝わって、三味線が生まれた。E 室町時代に禅宗の影響で生まれた。
- 2 (1) 座は営業の独占のために作られたもので、商人の自由な活動をさまたげていた。
- (2) 太閤検地と刀狩で兵農分離が進んだ。兵農分離とは、武士と農民の身分を分けること。

p.70~71

- 1 (1) ア (2) 宗教改革 (3) イ
 (4) ①ザビエル [フランシスコ・ザビエル]
 ②ウ
 (5) ウ→ア→イ (6) ローマ教皇
 (7) ①エ
 ② (例) 百姓から武器を取り上げて、一
 揆を起こさせないようにすること。
- 2 (1) ①ウ ②ア ③ルネサンス
 (2) ①イ ②オ ③エ
 (3) ①イ ②bエ cウ ③南蛮 ④ポルトガル

解説

- 1 (1) コロンブスはスペインの支援を受けた。バスコ・
 ダ・ガマはポルトガル人。マゼランはスペイン船
 隊を率いて世界一周を試みた。
 (2) ルターやカルバンの教えを信じる人々はプロテ
 スタントと呼ばれた。
 (4) ①ザビエルはスペイン人で、イエズス会の宣教
 師。②バテレン追放令が出された1587年以降も信
 者は増えている。
 (5) 1560年桶狭間の戦いで駿河の今川義元を破った
 織田信長は全国統一を目指し、京都に上って1573
 年室町幕府をほろぼした。さらに各地の戦国大名
 を平定しようと1575年長篠の戦いで甲斐の武田勝
 頼を破った。
 (7) ①石高は米の体積。土地の所有者だった貴族や
 寺社の権利は失われた。
- 2 (1) ①エルサレムは、現在のイスラエルにあり、イ
 エスが生涯を送り、はりつけにされた地として、
 キリスト教の最大の聖地である。②絹は漢の時代
 にはシルクロードを通して西方に伝えられていた。
 (2) ①ア・イ座は、税や品物を納めるかわりに寺社
 や貴族の許可を得て営業を独占した。楽市令では
 これを廃止した。ウ・エこの町=安土に泊まるよ
 う定めている。信長は関所も廃止し、交通を活発
 にしようとした。③ア・ウは日明貿易での日本の
 輸出品。イは室町時代から京都で生産されていた。
 (3) ①ア安土桃山時代には、城は平地に造られた。
 権力を示すため、城の内部は豪華なふすま絵や屏
 風絵でかざられた。ウ石垣の上に築かれた。エ安
 土城は焼失し、現存しないため、世界遺産ではな
 い。②アはわび茶、イは室町時代に能を大成した
 人物。③④スペイン人・ポルトガル人を南蛮人と
 呼んでいた。

14 江戸幕府の成立

p.73

▶ 確認問題

- 1 (1) 徳川家康 (2) 江戸幕府
 (3) 大阪の陣 (4) 幕領
 (5) 藩
 (6) ①親藩 ②譜代大名 ③外様大名
 (7) 幕藩体制 (8) 老中
 (9) 武家諸法度 (10) 徳川家光
 (11) 参勤交代 (12) 京都所司代
 (13) 武士 (14) 町人
 (15) 百姓 (16) 庄屋 [名主]
 (17) 年貢 (18) 五人組

解説

- 1 (1) 徳川家康は、三河(愛知県)出身で、豊臣秀吉
 により、関東を領地にあたえられて、江戸の町に
 大改造をほどこした。
 (4) 幕領は約400万石で、全国の石高は約3000万石。
 (9) 1615年には天皇や公家の行動を制限するため、
 禁中並公家中諸法度も制定された。
 (10) 家光は家康の孫で、「生まれながらの将軍」と
 呼ばれた。
 (11) 参勤交代での往復の費用や江戸での生活費は藩
 の財政に大きな負担になった。

p.74

● 図表チェック ●

- 1 A 関ヶ原 B 征夷大將軍
 C 徳川家光
 (1) 豊臣氏 (2) 大名
- 2 (1) A 親藩 B 譜代大名
 C 江戸 D 外様大名
 E 紀伊 F 尾張
 G 水戸
 (2) A 老中 B 寺社奉行
 C 京都所司代 D 町奉行
 E 勘定奉行

解説

- 1 A 関ヶ原は岐阜県にあり、石田三成らの西軍と徳
 川家康の東軍が戦った。この戦いは「天下分け目
 の戦い」とも呼ばれる。
 B 織田信長や豊臣秀吉は征夷大將軍にはならず、
 幕府も開いていない。
 (1) 1614年の大阪冬の陣の和議によって大阪城の堀
 を埋められ、守りが弱くなったところを、1615年
 の大阪夏の陣で攻められてほろぼされた。

- 2 (1) E・F・G 江戸幕府の将軍にあとつぎがない場合、将軍はこの御三家の中から選ばれることになっていた。第8代将軍吉宗は紀伊、第15代将軍慶喜は水戸出身である。

p.75

▶ 必修問題

- 1 (1) A 石田三成 B 佐渡 C 石見
D 武家諸法度 E 身分 F 水のみ
(2) ウ (3) イ (4) 参勤交代
(5) エ (6) ア (7) X四 Y六
(8) ウ
- 2 (1) (例) 大名が幕府の許可なく城を修理することを禁止した。
(2) (例) 犯罪の防止や年貢の納入に連帯責任を負わせるため。

解説

- 1 (1) A 石田三成は、豊臣秀吉の忠実な家臣で、秀吉の死後、その子の秀頼を支えて豊臣氏の政権を維持しようとした。B・C 金銀は日本の輸出品でもあり、貨幣の原料にもなった。E 豊臣秀吉の太閤検地と刀狩により、人々の身分が分かれていた。江戸幕府はこれを強化した。
(3) 将軍直属の武士は、旗本・御家人がいた。旗本は将軍に直接会うことができたが、御家人は会うことができなかった。
(4) 大名の妻子は人質として江戸で暮らした。江戸と領地の往復には大名行列が仕立てられ、街道沿いの本陣と呼ばれる宿に宿泊した。
(5) アは百姓、イは百姓のうち土地を持つ本百姓、ウは町人。
(6) 百姓が人口の大部分をしめていた。
(7) 公が幕府や藩を示し、民が百姓を示す。五公五民の場合は、収穫の半分を年貢として納めた。
(8) アは武家諸法度、イは戦国時代の分国法で甲州法度之次第、エは禁中並公家中諸法度の内容。
- 2 (1) 武家諸法度の目的は、大名の力を弱め、幕府に反抗することができないようにすることである。城を修理したり、新しい城を造ったりすることは軍事力の強化につながる。そのため、新しい城を造ることは厳しく禁止され、城を修理するときでさえ、幕府の許可が必要であった。
(2) 幕府や藩の財政は、百姓が納める年貢にたよっていたので、確実に年貢を取り立てられるような仕組みを作った。

15 江戸幕府の対外政策

p.77

▶ 確認問題

- 1 (1) ①朱印状 ②朱印船貿易
(2) 日本町 (3) 出島
(4) 島原・天草一揆 (5) ポルトガル
(6) 鎖国 (7) 絵踏
(8) 宗門改 (9) 清
(10) オランダ (11) 長崎
(12) 倭物 (13) オランダ風説書
(14) ①対馬藩 ②朝鮮通信使
(15) 薩摩藩 (16) 琉球使節
(17) アイヌ民族 (18) 松前藩

解説

- 1 (1) ①家康は朱印状を持った船(朱印船)の保護を、ルソン(フィリピン)、安南(ベトナム)、カンボジア、シャム(タイ)などの国々に依頼した。②朱印船貿易では、中国の物産のほか、東南アジアから染料や象牙なども輸入した。
(4) 天草四郎というキリシタンの16歳の少年を大将にして起きた。幕府は大軍を派遣してしずめた。
(6) 鎖国という言葉は、19世紀になってから使われるようになった。
(9) 女真族は中国東北部に住んでいた民族で、満州族ともいう。
(10) オランダはプロテスタントの国で、キリスト教の布教には熱心ではなかった。
(14) ②朝鮮通信使の行列は各地で歓迎され、これにちなんだ祭りや踊りが今も日本各地に残っている。

p.78

● 図表チェック ●

- 1 A キリスト B 平戸
C 徳川秀忠
- (1) 朱印船貿易 (2) 日本町
(3) 天草四郎 [益田時貞]
(4) 清 (5) シャクシャイン
- 2 (1) A 長崎 B 朝鮮 [朝鮮国]
C 対馬 D 琉球
E 薩摩 F アイヌ
G 松前
- (2) A 出島 B オランダ
C オランダ風説書 D 唐人

解説

- 1 A 幕府は、キリスト教徒が神の教えを優先し、幕府の命令に従わなくなるのを恐れた。
- (3) 天草四郎は「神の子」と呼ばれていた。
- (5) シャクシャインはアイヌの首長で、不公平な取り引きを行う松前藩に対して抵抗するよう、全蝦夷地のアイヌに呼びかけた。2か月間の戦いの後、シャクシャインは殺され、松前藩の支配はしだいに蝦夷地の全土に広がっていった。
- 2 (1) B 豊臣秀吉の朝鮮出兵以後、朝鮮とは国交がとだえていたが、徳川家康の下で対馬藩が力をつくし、国交を回復した。
- D 琉球王国は、薩摩藩の支配に苦しみながらも独自の文化を発展させていった。
- (2) A・B 出島にオランダ商館が置かれ、日本人との自由な交流は禁じられた。
- D 中国の商人からも役人が聞き取りを行い、風説書を作った。

p.79

▶ 必修問題

- 1 (1) A朱印状 Bスペイン C島原・天草一揆
Dポルトガル E長崎 Fオランダ
G明 H清
- (2) ①朱印船貿易 ②日本町
- (3) 徳川家光
- (4) 鎖国
- (5) dウ eイ gカ
- (6) シャクシャイン
- 2 (1) (例) 朝鮮は江戸幕府の将軍の代わりごとに朝鮮通信使を派遣した。
- (2) (例) キリスト教信者(キリシタン)を見つけるため。

解説

- 1 (1) B・Dスペインとポルトガルはイベリア半島にある国で、当時、イスラム教の勢力を国土から追い出し、カトリック勢力の代表のような存在であった。G・H1636年に女真族(満州族)の国が中国を支配して国号を清と改めた。
- (5) dは今の長崎県、eは今の鹿児島県、gは今の北海道南部にあった。Aは琉球、エは朝鮮の釜山、オは室町時代に栄えた十三湊を示している。
- 2 (1) 「朝鮮通信使」という語句は必須である。
- (2) 踏絵にはキリストやマリアの像が彫られていたことから考える。

16 江戸時代の産業の発達

p.81

▶ 確認問題

- | | |
|-------------------|-------------|
| ■ (1) 新田開発 | (2) 商品作物 |
| (3) 寛永通宝 | (4) 三都 |
| (5) 蔵屋敷 | (6) 株仲間 |
| (7) 五街道 | (8) 南海路 |
| (9) ①西廻り航路 ②東廻り航路 | |
| (10) 徳川綱吉 | (11) 朱子学 |
| (12) 新井白石 | (13) 元禄文化 |
| (14) 井原西鶴 | (15) 俳諧〔俳句〕 |
| (16) 近松門左衛門 | (17) 歌舞伎 |
| (18) 尾形光琳 | (19) 浮世絵 |

解説

- (1) 有明海や児島湾などの干拓が進められた。
- (3) 寛永は家光のころの元号。
- (8) 南海路では、大阪から江戸へ酒や油などの日用品が運ばれた。
- (9) 西廻り航路では北前船が物資を運んだ。
- (10) 徳川綱吉は、幕府の財政を補うために質を落とした貨幣を大量に発行し、経済が混乱した。
- (11) 朱子学は、中国の宋で生まれ、朝鮮で発達した。
- (13) 綱吉のころの元号から元禄文化と呼ばれる。
- (14) 井原西鶴は大阪の町人で、「日本永代蔵」や「好色一代男」などを書いた。
- (15) 俳句は、連歌の頭の部分を独立させた。
- (16) 近松門左衛門は「曾根崎心中」などを書いた。
- (18) 尾形光琳は「燕子花図屏風」などの装飾画もえがいている。

p.82

● 図表チェック ●

- 1 A 徳川綱吉 B 新井白石
- (1) a 備中ぐわ b 千歯こき
- (2) いわし (3) 天下の台所
- (4) 正徳の治
- 2 (1) A 東海道 B 中山道
C 西廻り D 東廻り
E 大阪 F 京都
G 江戸 H 関所
- (2) A 元禄 B 上方
C 町人 D 井原西鶴
E 人形浄瑠璃 F 松尾芭蕉
G 菱川師宣 H 歌舞伎

解説

- 1 (1) a それまでに使われていた平くわは刃が一枚であったが、備中ぐわは刃先が3つに分かれ、少ない力で深く耕すことができた。b 千歯こきは、稲を束にして複数並んだ刃の間を通すことで、効率よく脱穀できた。
- (2) いわしは九十九里浜（千葉県）で大量に捕られた。
- 2 (1) F 京都には天皇や公家が住んでいた。
G 江戸は18世紀の初めには人口100万人の大都市となった。
- (2) E 浄瑠璃とは三味線の伴奏で語る物語のことである。人形浄瑠璃とともに歌舞伎も人気を集め、芝居小屋がつけられた。
- F 松尾芭蕉は東北地方などを旅し、「奥の細道」などを著した。

p.83

必修問題

- 1 (1) A 商品作物 B 両替商 C 株仲間
(2) ①イ ②エ ③ウ ④ア ⑤オ
(3) ウ (4) エ
(5) Xエ Yイ (6) eア fウ
- 2 (1) (例) 諸藩が蔵屋敷を設けて米や特産物を販売したため、商業の中心地となったから。
(2) (例) 都市の繁栄を背景に、上方の町人が経済力を持つようになったから。

解説

- 1 (1) A 商品作物には、織物の原料となる綿花や、油を取るための菜種、染料になる「あい」や紅花などがある。B 東日本では主に金貨、西日本では主に銀貨が流通していたため、両替が必要だった。江戸の三井家や大阪の鴻池家などが有力になった。
- (3) 寛永通宝が普及して、明銭は使われなくなった。
- (4) エ二毛作は鎌倉時代に始まり、室町時代に広まった。
- (5) Xは現在の高知県や静岡県、Yは千葉県の銚子。アは兵庫県、ウは山形県などの特産品。
- (6) イは徳川光圀、エは徳川家光が行った。
- 2 (1) 「蔵屋敷」は諸藩が米や特産物を保管するために設けた倉庫である。貨幣が流通するようになり、年貢として集めた米を販売して貨幣に替えるようになった。大阪には全国の米が集まり、盛んに取り引きされたことでどのような位置をしめるようになったのかを「商業」の語句で表現する。
- (2) 指定語句をうまく文章としてつなげる。

17 江戸幕府の政治改革

p.85

確認問題

- 1 (1) 徳川吉宗 (2) 上げ米の制
(3) 公事方御定書 (4) 間屋制家内工業
(5) 工業制手工業 [マニファクチュア]
(6) ①小作人 ②地主
(7) 百姓一揆 (8) 打ちこわし
(9) 田沼意次 (10) 松平定信
(11) ラクスマン (12) 国学
(13) 蘭学 (14) 化政文化
(15) 藩校 (16) 寺子屋
(17) 異国船打拵令 (18) 大塩の乱
(19) 水野忠邦

解説

- 1 (5) 主に織物業や醸造業で盛んになった。
- (10) 松平定信は、親藩の白河藩主で、徳川吉宗の孫。
- (12) 「古事記」を研究することで、仏教や儒学が伝わる前の日本人の考え方を明らかにしようとした。国学は後に天皇を尊ぶ思想と結びつき、尊王攘夷運動に影響をあたえた。
- (14) 化政文化とは、当時の元号である「文化」「文政」からつけられた。
- (17) 実際に異国船打拵令に従って、漂流民を引きわたそうとしたアメリカ船を打ち払うというモリソン号事件が起こった。
- (18) 大塩平八郎は陽明学（儒学の一派）者で、弟子に呼びかけて乱を起こしたが、一日でしずめられた。大阪町奉行所の元役人が乱を起こしたことは幕府に衝撃をあたえた。

p.86

図表チェック

- 1 A 老中 B 根室
C 間宮林蔵 D 大塩平八郎
(1) 目安箱 (2) 朱子学
(3) ロシア (4) イ・エ
(5) 株仲間
- 2 (1) A 百姓一揆 B 打ちこわし
C 享保 D 寛政
E 天保
- (2) A 化政 B 本居宣長
C 杉田玄白 D 伊能忠敬
E 錦絵 F 喜多川歌麿
G 葛飾北斎 H 歌川重
I 与謝蕪村

解説

- 1 A 老中は、将軍から任命されて政治を行う、政治の最高職。
 C 樺太とユーラシア大陸の間の海を間宮海峡とい
 い、発見者の間宮林蔵の名がつけられている。
 (1) 目安箱への投書により、小石川養生所という医
 療機関が創られた。
 (2) 松平定信が幕府の学問所で朱子学以外の学問を
 教えることを禁止したことを「寛政異学の禁」と
 いう。
 (3) このころ、ロシアは大陸の東西に領土を広げ、
 日本にも通商を求めている。ラクスマンに対し、
 幕府は、外国との窓口である長崎に来るよう返答
 したため、レザノフが来航した。
- 2 (1) 享保・寛政・天保は、元号である。
 (2) C杉田玄白らは、江戸で人体の解剖を目にし、
 ヨーロッパの解剖図が正確なのに驚き、翻訳を決
 意した。しかし、そのころはオランダ語の辞書は
 なく、翻訳に非常に苦心した。その様子を後に「蘭
 学事始」という本に書いている。

p.87

▶ 必修問題

- 1 (1) A解体新書 B古事記伝 C狂歌
 D異国船打払令
 (2) aオ bイ cカ dア
 (3) ①エ ②㊦イ ③ウ
 (4) ウ
- 2 (1) (例) 裁判の基準にするため。
 (2) (例) 寺子屋で教育を受け、字を読める人
 が多くなったから。

解説

- 1 (1) C俳句の形式で世相を皮肉るものは川柳という。
 (2) ウは新井白石、エは徳川綱吉の政策。
 (3) ①エ糸を紡ぐ人と布を織る人がおり、分業で生
 産されていることがわかる。
 (4) 最上徳内や近藤重蔵に調査を行わせ、伊能忠敬
 に測量を命じた。
- 2 (1) 資料から、罪の内容とそれに対する罰の重さが
 決められていることがわかる。
 (2) 庶民の教育について述べることから、「寺子屋」
 の語句を使う。

定期テスト ◀ 得点 UP 問題 14~17

p.88~89

- 1 (1) 外様大名 (2) 朱印船貿易
 (3) 武家諸法度 (4) イ
 (5) ア→ウ→イ
 (6) (例) 質の良い小判を発行することで、物
 価の上昇を抑えようとした。
 (7) e Xウ・Yキ f Xア・Yコ g Xエ・Yケ
- 2 (1) ①ア
 ② (例) 備中ぐわや千歯こきなどの新し
 い農具が開発されたから。
 (2) ウ
 (3) ①朱子学 ②エ
 (4) ①E元禄 F化政 ②近松門左衛門
 ③Xイ Yア ④浮世絵

解説

- 1 (1) 外様大名は、江戸から遠いところに配置された。
 (2) 貿易の許可状を朱印状という。
 (3) 大名の行動を取りしまっている。
 (4) イ江戸での費用29.3%、大名行列の費用4.6%
 を合わせると、33.9%。総額の3分の1にもあた
 るが、俸禄などの43.6%よりは少ない。
 (5) アは1612年、イは1637年、ウは1635年。
 (6) 第5代将軍徳川綱吉は、財政が悪化したため、
 金の含有率の低い=質の悪い元禄小判を発行した。
 そのため、小判の価値が下がり、物価が上がった。
 (7) 徳川綱吉は、享保の改革の前、カを行った。田
 沼意次は享保の改革の後、クを行った。
- 2 (1) 新田開発で耕地面積が増え、栽培方法のくふう
 などもあり収穫量が増えた。
 (2) ア江戸ではなく大阪。イ西廻り航路は東北地方
 と大阪を、東廻り航路は東北地方と江戸を結んだ。
 エ工場制手工業ではなく問屋制家内工業。
 (3) ②渡辺華山は蘭学者で、幕府の異国船打払令を
 批判したため、処罰された。
 (4) ①元禄は徳川綱吉のころの元号。化政は文化・
 文政という元号の略。③ウは「東海道五十三次」
 が有名。④Yは肉筆画だが、Xは多色刷りの版画
 として安く売られ、多くの人々が買い求めた。海
 外にも広まり、多くの画家に影響をあたえた。

18 欧米の近代化

p.91

▶ 確認問題

- (1) ロック (2) モンテスキュー
- (3) ルソー (4) ピューリタン革命
- (5) ①名誉革命 ②権利章典
- (6) 立憲君主制 (7) 独立宣言
- (8) 絶対王政
- (9) ①人権宣言 ②民法 [ナポレオン法典]
- (10) 政党政治 (11) プロイセン
- (12) 南下政策 (13) 移民
- (14) 南北戦争
- (15) ①産業革命 ②資本主義
- (16) 労働組合 (17) 社会主義

解説

- (4) ピューリタンとはイギリスのカルバン派の清教徒のことである。イギリスの議会にはピューリタンが多かったことから、ピューリタン革命と呼ばれる。
- (6) 「国王は君臨すれども統治せず」といわれた。
- (7) アメリカの東部13州は、イギリスで迫害されたピューリタンが移住したのが始まりである。アメリカ国旗の13の紅白のしまは、このときの13州を表している。
- (8) 絶対王政は、スペイン、オーストリア、ロシアなどでも行われた。
- (11) 19世紀まで、現在のドイツの範囲には、小さな国が分立していた。
- (17) 社会主義の考え方は、各国の労働組合と結び付き、マルクスらの「資本論」の影響も受けて、社会主義運動として広まっていった。

p.92

● 図表チェック ●

- 1 A ピューリタン B 名誉
C 独立 D フランス
E 南北
- (1) ①カ ②エ ③オ ④イ ⑤ア ⑥ウ
- (2) ③ウ ④ア ⑤エ ⑥イ
- (3) 普通選挙 [男子普通選挙]
- 2 (1) A 権利章典 B イギリス
C 議会 D 立憲君主制
E 議会政治
- (2) A 蒸気 B 産業革命
C 工場 D ドイツ
E イタリア F 中南米

解説

- 1 (1) ① クロムウェルは、ピューリタン革命で共和政を始めたが、後に独裁を行った。
- ② ルイ14世は、「朕は国家なり」という言葉を残し、「太陽王」と呼ばれた。ベルサイユ宮殿の建設やイギリスなどとの戦争に、莫大な費用を費やした。
- ⑥ ワシントンは、独立戦争の指導者で、初代アメリカ大統領である。
- ⑦ ナポレオンは国民の投票で皇帝となり、フランスは共和政から帝政になった。ナポレオンは、ロシア遠征に敗れて皇帝の位を追われ、エルバ島に流された。後に島を抜け出して一時皇帝に返り咲いたが、再び失脚した。
- ⑨ 南北戦争のとき、北部の州を率いていたのがリンカン大統領である。
- ⑩ ドイツ帝国の成立には、プロイセンの首相ビスマルクが大きな役割を果たした。
- 2 (2) A 蒸気機関を利用した鉄道や船も開発された。このときの動力源は石炭で、石炭を採掘するため、炭鉱では小さな子どもも働かされた。
- F 大航海時代のとき、スペインやポルトガルがアメリカ大陸に進出し、植民地を作っていた。

p.93

▶ 必修問題

- 1 (1) A ナポレオン B ウィーン C イギリス
(2) 啓蒙思想
- (3) ①平等 ②自由 ③国民
- (4) ア (5) 共和政
- (6) ア・ウ (7) イ
- 2 (1) (例) 議会に代表を送る権利がないのに、一方的に課税されたこと。
- (2) (例) 聖職者や貴族は免税の特権を持ち、平民は重い税に苦しんでいた。

解説

- 1 (3) アメリカ独立戦争やフランス革命は、市民が自由と平等の権利を勝ちとるための革命だった。
- (7) 南部の州は綿花などの大農場が発達し、その労働力として奴隷を必要としていた。また、綿花を輸出するために自由貿易を望んでいた。
- 2 (1) イギリスが議会政治の国で、課税には議会の承認が必要だったことを考え合わせる。イギリスは、砂糖や茶に税をかけようとした。
- (2) 絵にえがかれている3人の人物が「聖職者」「貴族」「平民」のうち、だれを表しているか、考える。1人だけ、重い石におしつぶされ、その上に2人が乗っている。

19 欧米の進出と日本の開国

p.95

▶ 確認問題

- (1) 三角貿易
- (2) ①アヘン戦争 ②南京条約
- (3) 関税自主権 (4) 領事裁判権
- (5) 太平天国の乱 (6) ①ペリー ②浦賀
- (7) 日米和親条約 (8) 井伊直弼
- (9) 日米修好通商条約 (10) 尊王攘夷運動
- (11) 桜田門外の変 (12) 木戸孝允
- (13) 西郷隆盛 (14) 薩長同盟
- (15) 徳川慶喜 (16) 大政奉還
- (17) 王政復古の大号令 (18) 戊辰戦争

解説

- (5) 太平天国とはキリスト教の影響を受けた宗教で、土地を平等に分け、貧富の差のない社会にしようとしたが、清の軍隊や外国の軍隊にたおされた。
- (6) ②浦賀には、ペリー以前にもイギリス船やアメリカ船が来航したことがあった。
- (8)・(9) 日米修好通商条約は、江戸幕府の大老井伊直弼が、朝廷の許可を得ないまま、下田に赴任してきた総領事ハリスとの間で結んだ。
- (10) 国学の影響を受けた天皇を尊ぼうという尊王論と、物価の値上がりなどで外国を追い払おうという攘夷論が結びついた。
- (11) 桜田門とは江戸城の門の一つである。
- (13) 西郷隆盛は、戊辰戦争のとき新政府軍を率いていたが、幕府の役人だった勝海舟との話し合いで、江戸城無血開城が実現した。
- (18) 「戊辰」は1868年の干支である。

p.96

● 図表チェック ●

- 1 A アヘン B 南京
- C 太平天国 D 徳川慶喜
- E 王政復古 F 戊辰
- (1) ペリー (2) 下田・函館
- (3) 安政の大獄 (4) 桜田門外の変
- (5) ⑤エ・カ ⑥オ ⑦ア
- 2 (1) A 三角 B 綿織物
- C 茶 D 銀
- E アヘン
- (2) A 修好通商 B 和親
- C 関税自主権 D 領事裁判権
- E 日本

解説

- 1 (3) 安政の大獄の背景には、第13代将軍のあとつぎをめぐる、井伊直弼と、薩摩藩・長州藩などとの対立もあった。薩摩藩や長州藩などは、水戸藩の家系の慶喜を推したが、井伊直弼は別の人物を第14代将軍にした。
- (5) イの吉田松陰は、長州藩で松下村塾という私塾を開き、多くの人材を育てていたが、安政の大獄で処刑された。
- 2 (1) B産業革命前、インドの手工業による綿織物は、ヨーロッパで人気が高く、高値で取引されていた。

p.97

▶ 必修問題

- 1 (1) Aインド大反乱 Bアヘン戦争
C開国 D尊王 E坂本龍馬
F徳川慶喜 G大号令
- (2) ウ (3) カ・ク
- (4) 生糸 (5) 大老
- (6) 安政の大獄 (7) 公武合体策
- (8) gイ hエ (9) 大政奉還
- (10) イ→ウ→ア
- 2 (1) (例) 大量に生産した工業製品を売るため。
- (2) (例) 関税自主権がなかったため、安い綿織物が大量に輸入されたから。

解説

- 1 (1) Aインドには、イスラム教のムガル帝国があったが、イギリスが支配するインド帝国の成立で滅亡した。
- (2) 神奈川県の浦賀。
- (3) 北海道の函館と静岡県の下田。
- (7) 孝明天皇の妹和宮が、第14代将軍徳川家茂の夫人としてむかえられた。
- (8) アはアメリカで起こった内戦、ウは旧幕府軍と新政府軍の戦い。
- (10) 旧幕府軍は、函館の五稜郭に立てこもったが、新政府軍に降伏し、戊辰戦争は終わった。
- 2 (1) 何が「大量」なのか、考える。大航海時代には、アジアの産物を得ることが目的だった。
- (2) 不平等条約の内容は、領事裁判権を認めたことと、関税自主権がなかったこと。貿易に関係の深いほうを選び、綿織物が輸出品か輸入品か考えて、記述する。

p.98~99

- 1 (1) Xイ Yウ (2) Aオ Bウ Cカ
 (3) X20
 Y (例) 機械を使って大量生産された
 (4) ①イ ②南京条約 ③太平天国の乱
 (5) ア
- 2 (1) ペリー
 (2) X下田 Y函館 Zアメリカ
 (3) ウ
 (4) (例) 日本では外国と同じ量の銀で、外国よりも多くの金と交換することができたから。
 (5) ウ→イ→ア (6) 大政奉還 (7) エ

解説

- 1 (1) Xは権利章典, Yは人権宣言。
 (2) アは独立戦争の指導者で初代アメリカ大統領, イはフランス革命前に絶対王政を行った国王, エはピューリタン革命を指導した政治家。
 (3) 1800年ごろに輸出を始め, 1820年にアジアからの輸出を上回った。
 (4) ①清は貿易港を一港に限っていた。イギリス製品は清であまり売れなかった。また, イギリスでは紅茶を飲む習慣が広まっていたため, 清から大量に輸入する茶の代金の銀が不足した。②南京条約では, 清はイギリスに多額の賠償金を支払い, 香港をゆずることになった。
 (5) イは三権分立を唱えた。ウは社会主義に影響をあたえた。エは社会契約説と抵抗権を唱えたイギリスの啓蒙思想家。
- 2 (1) ペリーは翌年も来日し, 神奈川に上陸した。
 (2) Z日本で罪を犯したアメリカ人を, 日本の法律ではなく, アメリカの領事がアメリカの法律で裁くこととした。
 (3) ア輸入1407.7万ドル, 輸出1849.1万ドルなので輸出額のほうが多い。イ輸出では生糸が約85%だが, 輸入では毛織物でも5割以下である。エ日本を開国させたアメリカは, 南北戦争の影響で貿易額が激減した。
 (5) 1858年に日米修好通商条約を結んだ井伊直弼は, 反対派の弾圧(安政の大獄)を行ったため, 1860年, 桜田門外の変で暗殺された。その後, 攘夷に失敗した薩摩藩と長州藩が, 1866年に薩長同盟を結んだ。
 (6) 大政奉還を行ったのは, 第15代将軍徳川慶喜。
 (7) 木戸孝允は長州藩, 坂本龍馬は土佐藩出身。

p.101

▶ 確認問題

- 1 (1) 明治維新 (2) 五箇条の御誓文
 (3) 東京 (4) 一世一元の制
 (5) 中央集権国家 (6) 版籍奉還
 (7) 廃藩置県 (8) 藩閥政府
 (9) 華族 (10) 士族
 (11) 平民 (12) 解放令[贱称廃止令]
 (13) 学制 (14) お雇い外国人
 (15) 徴兵令 (16) 地租改正
 (17) 地券 (18) ①3 ②2.5
 (19) 現金

解説

- 1 (1) 人々は明治政府の政治を, 「御一新」と呼んで期待した。
 (2) 五箇条の御誓文と同時に, 民衆に対しては, 一揆やキリスト教の禁止などを定めた五榜の掲示が出された。
 (3) 1868年, 江戸が東京と改められ, 天皇は1869年に京都から東京に移った。
 (5) それまでは, 地方は藩ごとに治められていた。
 (7) 最初は300ほどの県が置かれたが, 次第に統合され, 1888年には1道3府43県になった。
 (10) 士族はやがて, 帯刀を禁止され, 禄(武士として得ていた給料)も廃止されて, 特権をうばわれた。収入のなくなった士族は, 商売を始めたり, 北海道などに移住して土地を開墾したりした。
 (12) それまでの職業上の権利がうばわれ, 徴兵もされたので, 生活はかえって厳しくなった。
 (13) 小学校から大学までの学校制度も定められた。
 (15) 兵役の義務を負わされることになり, 徴兵反対の一揆が各地で起こった。

p.102

● 図表チェック ●

- 1 A 明治天皇 B 華族
 C 士族 D 解放令
 (1) 五榜の掲示
 (2) 版一土地 籍一人民
 (3) 県令 [県知事] (4) 6
 (5) 兵役
- 2 (1) A 文部 B 大蔵
 C 薩摩 D 長州
 E 土佐 F 肥前
 (2) A 地券 B 広さ [面積]
 C 所有者 D 地価

解説

- 1 A 明治以降、一人の天皇につき一つの元号と定められた。
- 2 (1) C・D・E・F 幕末にいち早く藩政改革を進めて雄藩となり、倒幕勢力の中心となったこれらの藩をまとめて「薩長土肥」という。
- (2) 地券は土地の所有者に発行された。土地は自由に売買できるようになった。

p.103

必修問題

- 1 (1) A五箇条の御誓文 B中央集権
C版籍奉還 D藩置置県 E府知事
F明治維新
- (2) 藩閥政府
- (3) イ
- (4) ①平民 ②エ
- (5) 決まり一学制 施設一小学校
- (6) ①徴兵令 ②20
- 2 (1) (例) 土地所有者が地価(土地の値段)の3%を現金で納めることになった。
- (2) (例) 政府が安定した収入を得るため。

解説

- 1 (2)・(3) 五箇条の御誓文で、「全ての政治は人々の話し合いで決めよう」とうたっていたにもかかわらず、明治新政府の重要な職は、薩摩・長州・土佐・肥前藩といった、倒幕に功績のあった藩の出身者でしめられていた。
- (4)② イ・エは江戸時代の武士が持っていた特権。エは武士からうばわれた。
- (5) かけ図を使った問答中心の授業が行われ、全員が同じ科目を学ぶようになった。女子は家事の担い手とされ、男子に比べて就学率が低かった。
- 2 (1) 納税者は土地所有者、課税対象は地価、納税方法は現金なので、これらの語句が必要である。
- (2) 地租改正の前は、年貢を納めていたので、年貢と地租のちがいを考える。年貢は収穫量に応じて米で納めていたが、不作の年も多かった。

21 明治政府の政策と外交

p.105

確認問題

- 1 (1) 富国強兵 (2) 殖産興業
(3) 富岡製糸場 (4) 官営模範工場
(5) 文明開化 (6) 福沢諭吉
(7) 中江兆民 (8) 岩倉使節団
(9) 津田梅子 (10) 日清修好条規
(11) 征韓論 (12) ①西郷隆盛 ②板垣退助
(13) 日朝修好条規 (14) 樺太・千島交換条約
(15) 屯田兵 (16) 琉球処分
(17) 竹島 (18) 北方領土
(19) 尖閣諸島

解説

- 3 富岡製糸場ではフランスの最新機械を導入し、フランスの技師を招いた。
- 6 福沢諭吉は慶応義塾の創設者である。
- 8 岩倉具視を団長に、木戸孝允・大久保利通・伊藤博文ら政府の有力者の約半分が参加し、約50名からなる大使節団だった。日本の法整備の遅れなどを理由に、不平等条約の改正は成功しなかった。
- 9 津田梅子は、7歳でアメリカにわたった。帰国後、女子英学塾(現在の津田塾大学)を創設した。
- 11・12 征韓論を唱えたのは、岩倉使節団に参加しなかった人たちで、征韓論に反対したのは岩倉使節団に参加した人たちであった。
- 16 日本は、琉球の漂流民が殺害された事件で1874年に台湾に出兵し、清から賠償金を得た。これで琉球民は日本人であるとされ、日本の琉球領有が認められたとした。

p.106

図表チェック

- 1 A 岩倉具視
B 学問のすゝめ [学問のすすめ]
C 江華島 D 小笠原
E 沖縄県
(1) 開拓使 (2) a新橋 b横浜
(3) 大久保利通
(4) a樺太 b千島列島
- 2 (1) A殖産興業 B官営模範工場
C生糸 Dフランス
E群馬 F渋沢栄一
(2) A文明開化 B洋服
C帽子 Dれんが
Eガス灯 F人力車

解説

- 1 A 岩倉具視は公家の中の倒幕派の中心で、新政府では右大臣となっていた。
 B 冒頭の「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」という語句で有名である。
 (2) 蒸気で走る機関車で「陸蒸気」と呼ばれた。続いて神戸・大阪間、大阪・京都間など、次々に鉄道が開通していった。
- 2 (1) C 群馬県は古くから養蚕が盛んであった。
 F 渋沢栄一は、明治新政府の中で財政を担当する大蔵省で働き、辞職後、第一国立銀行の設立など金融制度の整備や実業学校の援助を行った。

p.107

▶ 必修問題

- 1 (1) A 文明開化 B 太陽暦 C 日清修好条規
 D 江華島事件 E 琉球 F 北海道
 (2) ①富国強兵 ②ア
 (3) ルソー
 (4) ウ
 (5) イ・エ
 (6) あエ いウ うア えイ
 (7) キ
- 2 (1) (例) 外国の優れた技術の普及を図るため。
 (2) (例) (岩倉使節団に同行して) 欧米を視察した結果、国力の充実が先であると考えたから。

解説

- 1 (2) ②群馬県である。イの横浜は最大の貿易港で、富岡製糸場で作られた生糸はここからイギリスなどに輸出された。ウは大阪、エは長崎である。
 (4) ウのラジオ放送が始まったのは1925年で、大正時代のこと。
 (7) 得撫島以北の千島列島が日本領となった。カの樺太は江戸幕府がロシアと結んだ条約では国境を定めず、日本・ロシアの雑居地とされていたが、樺太・千島交換条約でロシア領とした。クは江戸幕府が結んだ日露和親条約で日本領となった。ケは日本が領有を宣言して認められた小笠原諸島。
- 2 (1) 「模範」の意味を考えて記述する。
 (2) 「欧米を視察し、日本の国力の不足を感じていたから。」などでもよい。

22 自由民権運動と立憲国家の成立

p.109

▶ 確認問題

- 1 (1) 大久保利通
 (2) 民撰議院設立の建白書
 (3) 自由民権運動 (4) 西南戦争
 (5) 国会期成同盟 (6) 五日市憲法
 (7) 大隈重信 (8) 国会開設の勅諭
 (9) 自由党 (10) 激化事件
 (11) 伊藤博文 (12) ドイツ
 (13) 内閣制度 (14) 大日本帝国憲法
 (15) 元首 (16) 帝国議会
 (17) ①貴族院 ②衆議院
 (18) 教育勅語 (19) 立憲制国家

解説

- 1 (1) 大久保利通は薩摩藩出身者である。
 (3) 自由民権運動は藩閥政府に反対し、国民の代表者による政治を求めた。
 (7) 大隈重信は後に何度か内閣総理大臣になり、内閣を組織している。東京専門学校(現在の早稲田大学)の創始者でもある。
 (9) 自由党はフランスの人権思想に基づいており、急進的であった。
 (12) ドイツは、プロイセンを中心とした統一国家で、皇帝の権力が強かった。

p.110

● 図表チェック ●

- 1 A 板垣退助 B 西郷隆盛
 C 勅諭 D 立憲改進黨
 E 伊藤博文
 (1) 士族 (2) 大阪
 (3) 埼玉県 (4) 教育勅語
- 2 (1) A 天皇 B 法律
 C 自由
 (2) A 枢密院 B 内閣
 C 帝国議会 D 貴族院
 E I5 F 25
 G 男子

解説

- 1 A・B 板垣退助と西郷隆盛は、明治新政府の要職にあったが、征韓論を唱えて敗れ、政府を去っていた。

(1) 士族の反乱は、西日本に多く、山口県の萩の乱、福岡県の秋月の乱、佐賀県の佐賀の乱、熊本県の神風連の乱などがある。西南戦争が最大で最後の反乱だった。

(3) 秩父事件は、生活に困った農民が高利貸や郡役所をおそった事件で、民権派も加わっていた。

2 (1)A 天皇は国の元首として強い権限を持ち、日本国民は「臣民」と呼ばれた。

(2)E 直接国税とは地租と所得税のことである。納税額による選挙権の制限は次第にゆるめられ、有権者の数は少しずつ増えていった。

p.111

必修問題

1 (1) A 民撰議院設立の建白書 B 自由民権運動
C 自由党 D 立憲改進黨 E 君主
F 内閣総理大臣〔首相〕 G 大日本帝国憲法
H 衆議院

- (2) エ
- (3) 藩閥政府
- (4) 国会期成同盟
- (5) ウ

2 (1) (例) 国民の意見を政治に反映させるため。
/国民が政治に参加する権利を確立するため。
(2) (例) 直接国税を15円以上納める満25歳以上の男子。

解説

1 (2) ア・ウ 北海道開拓使の施設を、政府が関係者に安く売りわたしたとして、民権派が厳しく政府を批判したため、政府がたおれるのをおそれた伊藤博文らが、1890年までに国会を開くことを約束した。このとき、民権派と結びついていると疑われた大隈重信は、政府を辞めさせられた。

- (4) Xは大阪である。
- (5) ウ大阪や名古屋、静岡などでも起きている。
イ・エは事件が起きた年を読み取る。

2 (1) 議会が開設されると、国民がどのようなことができるようになるか考える。
(2) 「15円以上〔多く〕」、「25歳以上」、「男子〔男性・男〕」という語句が必要である。

定期テスト 得点UP 問題 20~22

p.112~113

1 (1) 五箇条の御誓文
(2) (例) 中央集権国家を造るため。
(3) 学制 (4) 徴兵令 (5) エ
(6) 板垣退助
(7) (例) 米の支給が廃止されて生活が苦しくなり、帯刀などの特権もうばわれたから。
(8) イ→ア→ウ (9) エ
(10) X15 Y25 Z男子

2 (1) ウ
(2) (例) 樺太をロシア領、千島列島を日本領とした。
(3) 屯田兵 (4) 琉球処分
3 (1) 殖産興業 (2) エ (3) 文明開化
(4) ウ

解説

1 (2) 版籍奉還では、旧藩主がそのまま治めていたので、あまり効果がなく、廃藩置県では中央から役人を派遣した。
(5) 額は棒グラフ、割合は折れ線グラフを読み取る。イで金額がやや減ったのは、税率が3%から2.5%に引き下げられたからである。エは、1880年から1885年にかけてやや上がっている。
(8) 国会期成同盟が国会開設の請願書を出し(1880年)、政府が国会開設の勅諭を出した(1881年)。国会開設に備え、立憲改進黨が結成された(1882年)。
(9) エの国民の権利は、法律の範囲内で認められた。

2 (1) 資料1は日清修好条規、資料2は日朝修好条規である。ア日本と清はたがいに自国民を自国の法律で裁く権利を認め合っている。イ朝鮮が日本の領事裁判権を認めている。エ第1条に「平等」とうたっているものの、第10条に朝鮮に不利な内容がふくまれている。
(3) Dの蝦夷地を北海道と改称し、日本の領土に組みこんだ。
(4) 琉球王国は独立国だったが、明治政府は、まず、琉球藩を置き、後に沖縄県に改称した。

3 (2) エ製糸工場や紡績工場では、主に女性が働いた。
(4) 渋沢栄一は、多くの銀行や企業を作った人物。津田梅子はアメリカに留学し、帰国後は女子教育につくした。

23 条約改正, 日清戦争

p.115

▶ 確認問題

- (1) 列強 (2) 帝国主義
- (3) ①欧化政策 ②鹿鳴館
- (4) ノルマントン号事件 (5) 陸奥宗光
- (6) 小村寿太郎 (7) 朝鮮
- (8) ロシア (9) 甲午農民戦争
- (10) 日清戦争 (11) 下関条約
- (12) 台湾
- (13) ①三国干渉 ②遼東半島
- (14) 中国分割
- (15) ①ドイツ ②フランス
- (16) イギリス (17) 立憲政友会

解説

- (3) 井上馨外務大臣が行った欧化政策は、国内外の反発をかった。
- (9) 東学は、西学(西洋文化)に反対する宗教。
- (11) 下関の講和会議には、日本からは内閣総理大臣伊藤博文と、外務大臣陸奥宗光が出席した。
- (12) 台湾は、1945年まで日本の植民地であった。
- (16) イギリスはアヘン戦争で香港を獲得していた。

p.116

● 図表チェック ●

- 1 A 領事裁判 B 伊藤博文
- C 関税自主
- (1) エ
- (2) イギリス
- (3) 朝鮮
- (4) a 遼東半島 b ロシア c 三国干渉
- (5) 大韓帝国 [韓国]
- 2 (1) A イギリス B フランス
- C ドイツ D オランダ
- E アメリカ F 帝国主義
- G シベリア
- (2) A 日清 B 日本
- C 清 D 朝鮮
- E ロシア

解説

- 1 B 伊藤博文は、初代内閣総理大臣である。その後も何度か内閣総理大臣になっている。
- (3) 日清戦争は朝鮮をめぐる争いである。
- 2 (1) A イギリスはインド、ビルマ(ミャンマー)のほか、カナダ、オーストラリア、ニュージールランドなども植民地としていた。

- B フランスはアフリカにも広大な植民地を持っていた。
- D オランダはジャワを中心にインドネシアに勢力を広げていた。
- E フィリピンはスペイン領からアメリカ領になっていた。

- (2) 資料の風刺画は、フランス人のビゴーによってえがかれたもの。「漁夫の利を得る」という中国のことわざを使って皮肉っている。ビゴーはお雇い外国人として日本に来たが、契約が切れた後、新聞などに当時の日本の世相を皮肉った風刺画や漫画をえがいた。

p.117

▶▶ 必修問題

- 1 (1) A 条約改正 B 甲午農民戦争
C 日清戦争 D ドイツ E 租借
- (2) 鹿鳴館
- (3) ノルマントン号事件
- (4) cア dエ
- (5) ①ウ ②エ
- (6) ロシア
- 2 (1) (例) 軍事力によって、植民地を獲得しようとする動き。
- (2) (例) 日本が下関条約で得た遼東半島を清に返還すること。

解説

- 1 (1) B 甲午農民戦争の「甲午」とは「きのえうま」という干支のことである。E 租借は期限付きで借りること。
- (5) ①ウは山口県の下関である。アはアヘン戦争の講和条約が結ばれた南京、イは韓国の首都漢城(現在のソウル)、エは東京である。②日清戦争の賠償金の多くが軍備拡張費や臨時軍事費にあてられた。アについて、清は朝鮮の独立を認めた。イは清とイギリスとの間で結ばれた南京条約の内容である。ウについて、琉球ではなく台湾である。琉球には1879年に沖縄県が設置されていた。
- (6) Xは旅順・大連である。
- 2 (1) 指定語句でほぼ帝国主義の特徴を示しているので、うまく文章にまとめる。
- (2) Yは「遼東半島」なので、この語句を必ず入れる。

24 日露戦争

p.119

▶ 確認問題

- (1) 義和団事件 (2) 日英同盟
- (3) 幸徳秋水 (4) 内村鑑三
- (5) 日露戦争 (6) 東郷平八郎
- (7) 与謝野晶子 (8) アメリカ
- (9) ポーツマス条約 (10) 樺太 [サハリン]
- (11) 日比谷焼き打ち事件
- (12) 韓国統監府 (13) 義兵運動
- (14) 韓国併合 (15) 朝鮮総督府
- (16) 南満州鉄道株式会社 [満鉄]
- (17) 孫文 (18) 辛亥革命
- (19) ① 中華民国 ② 北京

解説

- (5) 日本は外交による交渉で、満州におけるロシアの権益を認めるかわりに、韓国に対する日本の支配権をロシアに認めさせようとしたが、失敗した。
- (6) ロシアのバルチック艦隊がインド洋を回って、日本海に入ったところを待ち伏せて攻撃した。
- (9) ポーツマス条約は、アメリカ大統領の仲立ちで結ばれた。ポーツマスはアメリカ東海岸のボストンの北にある都市である。
- (10) 樺太 (サハリン) は、樺太・千島交換条約で、ロシア領となっていた。
- (13) 義兵は、豊臣秀吉の朝鮮侵略の際にも活躍した。
- (19) ① 中華民国はアジアで初めての共和国である。清は女真族 (満州族) が建てた国だったが、再び漢民族の国となった。

p.120

● 図表チェック ●

- 1 A 義和団 B イギリス
- C 日露 D ポーツマス
- E 韓国 F 辛亥
- (1) ①イ ②エ ④ウ
- (2) 三民主義 (3) 中華民国
- 2 (1) A 満州 B アメリカ
- C フランス
- (2) A 日露 B 遼東
- C 韓国 D 日本海
- E 租借 F 鉄道

解説

- 1 (1)② 伊藤博文はハルビン (中国東北部の都市) で韓国人の青年安重根に射殺された。
- (2) 孫文は何度も日本に亡命し、日本と関係が深か

ったが、辛亥革命後は日本の列強としての政策を批判するようになった。1925年「革命未だ成らず」という言葉を残して亡くなった。

- 2 (1) 日露戦争の戦費は、約18億円で、そのうち約7億円をイギリスの銀行やアメリカの資本家から借りた。日本がこの借金を返し終えたのは、1986年のことだった。
- (2) 旅順と大連は遼東半島にある都市で、三国干渉で日本が遼東半島を清に返還した後、ロシアが租借していた。日本軍は、旅順にあったロシア最大の基地を半年がかりで降伏させた。

p.121

▶ 必修問題

- 1 (1) A 義和団 [義和団事件] B アメリカ
- C ポーツマス条約 D 旅順 E 清
- F 辛亥革命 G 孫文 H 南京
- (2) ①イ ②エ
- (3) 与謝野晶子
- (4) ア
- (5) 南満州鉄道株式会社 [満鉄]
- (6) ウ
- 2 (1) (例) 日本の軍事力を利用してロシアの南下をおさえようとしたから。
- (2) (例) (多数の死者や多額の戦費など) 国民の負担が大きかったにもかかわらず、賠償金を得られなかったから。

解説

- 1 (2) アは日清戦争のころの日本の外務大臣で条約改正に成功した人物、ウは日本海軍を率いて日本海海戦でロシア艦隊を壊滅させた人物である。
- (4) 1905年に韓国を保護国とし、韓国統監府を置いた。このときは外交権をうばった。1907年には皇帝を退位させた。1910年の韓国併合のとき、国名を朝鮮に改称し、朝鮮総督府を置いた。
- (6) 北緯50度以南の樺太 (サハリン) である。アは台湾で、下関条約で日本が清からゆずられた。イは遼東半島で、日本が下関条約で獲得したものの三国干渉で清に返還した。ポーツマス条約でこの地域の旅順と大連の租借権を得たが、領土をゆずられたわけではない。エは千島列島で、樺太・千島交換条約で日本領となっていた。
- 2 (1) 「ロシア」の語は必須である。「ロシアの南下に日本と共同で対抗するため。」でも可。
- (2) 資料から読み取れることを記述するので、資料中の語句を用いることが望ましいが、「死者」は「戦死者」、「戦費」は「軍事費」でも可。「賠償金がない」という内容は必要である。

25 日本の産業革命と近代文化

p.123

▶ 確認問題

- (1) ①紡績業 ②製糸業
- (2) 産業革命 (3) 石炭
 (4) 八幡製鉄所 (5) 財閥
 (6) 資本主義 (7) 労働組合
 (8) 労働争議 (9) 大逆事件
 (10) 足尾銅山 (11) 小作人
 (12) 横山大観 (13) 高村光雲
 (14) 黒田清輝 (15) 滝廉太郎
 (16) 樋口一葉 (17) 夏目漱石
 (18) 森鷗外 (19) 野口英世

解説

- (2) 産業革命が世界で最初に起こったのはイギリスで、18世紀後半のことである。
- (9) 大逆事件では多数の社会主義者が逮捕され、12名が処刑された。
- (11) 現金が必要になると、農民は土地を担保にお金を借りた。しかし多くの農民は借金を返せず、土地を手放した。小作人は、高い小作料を現物などで地主に納めなければならなかった。
- (14) 黒田清輝は、それまでの日本画に対し、油絵の具でえがく洋画を発展させた。
- (16) 樋口一葉は個性を重んじるロマン主義の作家で、作品では「にぎりえ」も有名である。
- (17) 夏目漱石の代表作には「こころ」、「草枕」、「三四郎」、「吾輩は猫である」などもある。
- (19) 野口英世はアメリカでへび毒の研究をしたり、南アメリカやアフリカで黄熱病の研究をしたりしたが、みずからも黄熱病にかかり亡くなった。

p.124

● 図表チェック ●

- 1 A 北里柴三郎 B 志賀潔
 C 田中正造 D 幸徳秋水
 E 黄熱
- (1) 日清戦争 (2) 社会主義
- 2 (1) A 輸出 B 輸入
 C 紡績 D 低
 E 長
- (2) A 財閥 B 民営
 C 八幡 D 炭鉱
 E 東海道 F 足尾
- (3) A 学制 B 教育勅語
 C 6

解説

- 1 A 北里柴三郎はドイツに留学して細菌学を学んだ。
 C 田中正造は栃木県出身の衆議院議員で、足尾銅山の鉱毒被害について、議会で政府を追及したり、議員をやめて天皇に直訴しようとしたりした。
 D 幸徳秋水は、日露戦争に反対した社会主義者。
- 2 (1) C 豊田佐吉が、国産の「豊田式自動織機」を発明したことで、綿糸から作られる綿織物の生産量も一気に増えた。
 (2) C 八幡製鉄所は現在の福岡県北九州市にある。
 F 足尾銅山は栃木県にある。

p.125

▶ 必修問題

- 1 (1) A 生糸 B 綿糸 C 軽 D 重化学
 E 公害 F 労働組合 G 大逆
 H 黒田清輝
 (2) イ
 (3) 14 [15]
 (4) 6
 (5) ウ
 (6) ① 言文一致 ② ア
- 2 (1) (例) 綿糸を機械で大量生産するようになったから。
 (2) (例) (原料・燃料となる) 石炭が近くの筑豊地域で産出し、鉄鉱石を輸入する中国にも近いから。

解説

- 1 (1) D 製鉄のほかに造船などの産業もおこってきた。
 (2) 土地を手放して小作人になる農民が増える一方、土地を買い集めて大地主になる者が現れた。都市や交通の発達で、自給自足のためではなく、売るために農産物を作るようになった。
 (3) 工女の多くは集団生活をしてしたが、過酷な労働と劣悪な生活環境のせいで病気になる者も多かった。
 (6) ② イの夏目漱石は「坊っちゃん」、ウの樋口一葉は「たけくらべ」、エの与謝野晶子は「君死にたまふことなかれ」(詩)の作者である。
- 2 (1) 写真より「機械」の語句が必要である。
 (2) 製鉄に必要な石炭と鉄鉱石のそれぞれの産地に近いことが立地の理由となった。当時、鉄鉱石は中国から輸入していた。

p.126~127

- 1 (1) (例) イギリスの領事裁判権を認めていたから。
 (2) b 下関条約 e ポーツマス条約
 (3) X 6 Y 8 Z 3 (4) イ (5) ウ
 (6) 帝国主義 (7) ①ア ②エ
 (8) う→あ→い
- 2 (1) 財閥 (2) ウ (3) A 八幡 B 足尾
 (4) 田中正造
- 3 (1) カ
 (2) D 北里柴三郎 E 志賀潔 F 野口英世
 (3) ウ

解説

- 1 (1) イギリス人船長が領事裁判で軽い罪ですんだため、日本国内で条約改正を求める声が高まった。
 (3) 日露戦争は日清戦争に比べ、大きな犠牲を払ったのに、賠償金を得ることができなかったため、日本国内では、ポーツマス条約に反対する声が高まった。
 (4) 日本はロシアに対する対抗心を高め、軍事費を拡大してロシアとの戦争に備えた。香港はアヘン戦争の結果、イギリス領となっていた。
 (5) 太平天国の乱はアヘン戦争後の1851年。甲午農民戦争は1894年に朝鮮で起こり、日清戦争のきっかけとなった。
 (6) イギリスは、アジアではインドや中国、東南アジアなどに植民地を広げていた。ロシアも南下政策をとったので、イギリスは日本と共同でロシアに対抗しようとした。
 (7) ①日清戦争開戦直前の1894年、外相陸奥宗光がイギリスとの間で成功した。②日露戦争後の1911年、外相小村寿太郎がアメリカとの間で成功した。
 (8) あの南樺太はポーツマス条約でロシアから獲得(1905年)、いの韓国は1910年に併合、うの台湾は下関条約で清から獲得(1895年)した。
- 2 (2) せんい工業では日清戦争のころ産業革命が進み、戦後は輸出が輸入を上回った。ア1899年に一度ピークを迎えているが、最も多かったのは1906年。イ1899~1902年は減っている。エ1906年には、国内生産量は約17万t、輸出量は約5万tなので、3分の1はこえていない。
- 3 (3) ウ女子の就学率が50%をこえたのは1895年よりも後のことである。

p.129

▶ 確認問題

- 1 (1) ①三国協商 ②三国同盟
 (2) バルカン半島 (3) サラエボ
 (4) 第一次世界大戦 (5) 総力戦
 (6) ロシア革命 (7) シベリア出兵
 (8) ソビエト社会主義共和国連邦
 (9) 共産主義 (10) 五か年計画
 (11) ベルサイユ条約 (12) 民族自決
 (13) 国際連盟 (14) ワシントン会議
 (15) ワイマール憲法 (16) 二十一か条の要求
 (17) 五・四運動 (18) 三・一独立運動
 (19) ガンディー

解説

- 1 (1) 三国協商のイギリス・フランスは、海外に多くの植民地や勢力圏を持っている国々であり、三国同盟のドイツ・オーストリア・イタリアは植民地の再分割を求める国々である。
 (2)・(3) オーストリアが、セルビアに隣接する地域を併合したことで、緊張が高まっていた。サラエボはこの併合された地域にある都市である。
 (6)・(7) 社会主義は、産業革命後、資本主義の発展にともなう社会問題の発生から生まれた思想で、特にドイツやロシアに広まっていた。
 (9) 共産主義は、マルクス、エンゲルスらが唱えた思想で、社会主義がさらに発達した段階である。
 (11) ベルサイユは、フランスの首都パリの郊外にある。
 (19) イギリスは、第一次世界大戦に協力すれば自治を認めるとインドに約束していたのに、戦後、それを守らなかった。

p.130

● 図表チェック ●

- 1 A パリ B 朝鮮
 C 中国 [中華民国] D ドイツ
 (1) 日英同盟 (2) レーニン
 (3) シベリア (4) 新渡戸稲造
 (5) スターリン
- 2 (1) A イギリス B ロシア
 C ドイツ D オーストリア
 E 火薬庫 F スラブ
 G サラエボ
 (2) A ベルサイユ B 民族自決
 C 国際連盟 D ロシア
 E ソビエト

解説

- 1 (2)・(5) スターリンはレーニンの後をついでソ連の指導者になったが、個人崇拜を強めたため、その死後、「スターリン批判」が起こった。
- (3) シベリアとはロシア東部のこと。
- (4) 新渡戸稲造は、札幌農学校に学んだ農学者・教育者であり、キリスト教徒でもあった。アメリカで日本に関する著書を発表し、有名になっていた。
- 2 (1) イギリス・フランスは、ロシア・セルビア側につき、連合国と呼ばれた。ドイツはオーストリアにつき、オスマン帝国（トルコ）も同盟国についてた。しかし、三国同盟の一員イタリアは連合国についた。
- (2) ロシア、ドイツ、オーストリアなどで帝国がたおれ、多くの独立国が生まれた。

p.131

▶▶ 必修問題

- 1 (1) Aバルカン Bセルビア
C第一次世界大戦 D総力戦
Eアメリカ F日本 Gインド
- (2) ウ
- (3) ①二十一か条 ②山東 さんとう シヤントン ③五・四
- (4) い
- (5) ウ・オ
- (6) ア・エ
- 2 (1) (例) 兵士として送られた男性にかわり、女性の労働力が必要とされるようになった。
- (2) (例) ロシア革命に干渉し、社会主義の影響が世界に広がることを防ぐため。

解説

- 1 (2) サラエボはバルカン半島にある都市で、現在はボスニア・ヘルツェゴビナの首都である。
- (3) ドイツは、山東省の膠州湾を中国から租借していた。
- (4) フランスのパリで講和会議が開かれた。
- (5) アメリカは、議会の反対で国際連盟に加盟せず、敗戦国のドイツや、社会主義国家のロシアも最初は加盟を認められなかった。
- (6) イは第一次世界大戦中の1918年のこと。ウについて、ワシントン会議では中国の独立と領土の保全を決め、日本は山東省のドイツ権益を返還した。
- 2 (1) 資料から、戦争の後半ほど労働者にしめる女性の割合が高くなっている理由を、「労働力」という語句を用いて説明する。
- (2) 何に干渉するのかを明記するため、「ロシア革命」という語句は必要である。

27 大正デモクラシー

p.133

▶ 確認問題

- (1) 護憲運動 [第一次護憲運動]
- (2) 大戦景気 (3) 米騒動 こめそうどう
- (4) 原敬 はらかなし (5) 政党内閣
- (6) 大正デモクラシー (7) 民本主義 みんぽん
- (8) 天皇機関説
- (9) ①労働争議 ②メーデー
- (10) 小作争議 こさく (11) 日本共産党
- (12) 平塚らいてう ひらつか (ちよう) (13) 全国水平社
- (14) 普通選挙法 ふつ (15) 治安維持法 いじ
- (16) ラジオ放送 (17) 芥川龍之介 あきたがわりのすけ
- (18) プロレタリア文学 (19) 関東大震災 しんさい

解説

- (1) これ以前は、立憲政友会と、藩閥・官僚勢力が交互に政権を担当していた。護憲運動の中心となったのは、尾崎行雄・犬養毅らの政治家や新聞記者である。
- (4) 原敬は岩手県出身で、華族でも藩閥でもなかった。
- (6) デモクラシーとは「民主主義」の意味である。
- (7) 吉野作造はデモクラシーを民本主義と訳したが、これは、人民主権ではなく、大日本帝国憲法の天皇主権の下で、国民の意見を政治に生かそうと考えたからである。
- (13) 全国水平社は京都で結成された。
- (19) 関東大震災の後、鉄筋コンクリート造りの建物が増えた。

p.134

● 図表チェック ●

- 1 A護憲 B関東
C加藤高明 かとうたかあき Dアイヌ
- (1) aシベリア b富山
- (2) 大正デモクラシー
- (3) 治安維持法
- 2 (1) A青鞥 せいとう B平塚らいてう (ちよう)
C市川房枝 いちかわふさえ D女性
- (2) A水平社 B平等
C部落解放
- (3) A年齢 ねんれい B納税額 [直接国税]
C1925 D男子普通 [普通]
E 5 F性別

解説

- 1 A 護憲とは「憲政擁護」のこと。
- (1) 大戦中は好況で、労働者の賃金も上がったが、米の値段だけでなく物価はそれをうわ回って高くなった。
- (2) 1912年に明治時代が終わり、大正時代になっていた。
- 2 (2) 明治時代に「解放令」が出された後も、差別はなくならなかった。
- (3) A・B 納税額の制限は次第に引き下げられていったが、年齢は25歳以上のままだった。
- D・F 普通選挙とは、年齢以外の制限がない選挙のことで、1925年には女性に選挙権がなかったため、本当の意味での普通選挙ではなかった。
- E 1925年の法改正後の1928年の選挙では、全人口にしめる有権者の割合は20.0%であるから、全人口の約5分の1にあたる。

p.135

必修問題

- 1 (1) A民主 B吉野作造
C美濃部達吉 D大衆
Eラジオ
- (2) ①ウ ②成金
- (3) bイ cエ
- (4) (例) 満25歳以上の男子。
- (5) ア
- (6) ①ア ②イ ③オ
- 2 (1) (例) シベリア出兵を見こした商人による米の買いしめが起こり、米の値段が急に上がったから。
- (2) (例) 陸軍・海軍・外務の3大臣以外の大臣が、立憲政友会の党員でしめられていた。

解説

- 1 (2) ①工業生産も農業生産も飛躍的にのびたが、工業生産ののびのほう大きい。また、第一次世界大戦中は、輸出が輸入を上回った。
- (3) 桂太郎は長州閥で、軍人でもあった。
- (5) アは明治時代の文明開化のころである。
- (6) ウは柳宗悦、エは山田耕作など。
- 2 (1) 同じ年に起こったできごととあるので、「シベリア出兵」の語句は必要である。
- (2) これまでの内閣と異なる政党内閣の特徴を記述する。

p.136~137

- 1 (1) ウ (2) ア
- (3) bエ cイ
- (4) 国際連盟 (5) ア (6) 米騒動
- (7) (例) 原敬が本格的な政党内閣を組織した。
- (8) ウ (9) 治安維持法
- 2 (1) エ
- (2) ①イ ②ワイマール憲法 ③ウ
④大正デモクラシー
⑤X吉野作造 Y美濃部達吉
⑥イ
- (3) (例) 新聞・ラジオや雑誌によって情報が広く伝わったから。
- (4) イ

解説

- 1 (1) イタリアは三国同盟の一員だったが、第一次世界大戦では連合国側についた。
- (2) 辛亥革命は1911年に起きた。ワシントンでは1921年に国際会議が開かれ、四か国条約や九か国条約が結ばれた。
- (3) b朝鮮は日本の植民地であった。c日本が第一次世界大戦中に得た山東省のドイツ権益を受けつぐことが決まったので、中国では反日・反帝国主義運動が起こった。
- (5) イの二十一か条の要求は、中華民国の袁世凱政府に対して出された。ウのロシアは連合国。エの山東省はドイツ領。
- (8) 納税額による制限は撤廃されたが、性別による差別は残った。
- 2 (1) 大戦中、日本は大戦景気と呼ばれる好景気になった。賃金も上がったが、物価がそれ以上に上がって、人々の生活は苦しくなった。
- (2) ①イギリス領インドは、戦場に兵士を送ったものの、約束されていた自治は認められなかった。共産党は、共産主義の実現をかかげる政党。③ロシア革命を指導したレーニンの死後、スターリンが独裁を行った。ウィルソンはアメリカ大統領、ガンディーはインドで独立運動を指導した。⑥自由党が結成されたのは、自由民権運動で国会開設が約束された後の1881年である。
- (4) 夏目漱石は「坊っちゃん」や「吾輩は猫である」の著者。志賀直哉は白樺派と呼ばれる人道主義の文学者。

28 世界恐慌

p.139

▶ 確認問題

- (1) ①ニューヨーク ②世界恐慌
- (2) ニューディール (3) イギリス
- (4) ブロック経済 (5) ソ連
- (6) ファシズム (7) 全体主義
- (8) ①ムッソリーニ ②ファシスト党
- (9) ①ヒトラー ②ナチス
- (10) 憲政の常道 (11) 関東大震災
- (12) 金融恐慌 (13) 昭和恐慌
- (14) 労働争議 (15) 小作争議
- (16) 国民政府 (17) ロンドン

解説

- (1) ニューヨークはアメリカ東海岸にある都市で、現在もアメリカの経済の中心である。
- (5) 「五か年計画」は、レーニンの後をついだスターリンによって進められていた。第1次(1928~32)、第2次(1933~1937)、第3次(1938~1942)のように続いた。
- (6) ファシズムはスペインでも勢力をのびした。
- (8) ムッソリーニは高まる共産主義の活動に対し、「戦闘者ファッショ」という小さな団体を作って、共産主義を批判していたが、後にローマで全国組織のファシスト党を結成した。これがファシズムの語源となった。
- (9) ヒトラーは一揆を起こして敗れ、投獄されたこともあったが、世界恐慌を機にナチスの議席数が飛躍的に増えた。ヒトラーは後に首相と大統領を兼任する総統(フューラー)の地位に就いた。

p.140

● 図表チェック ●

- 1 A イタリア B 男子普通〔普通〕
- C 海軍軍縮 D ドイツ
- (1) 銀行 (2) イ
- (3) 五か年計画 (4) 世界恐慌
- (5) ローズベルト〔フランクリン・ローズベルト〕
- 2 (1) A イギリス B フランス
- C 植民地 D 高い
- E 全体 F エチオピア
- G ベルサイユ H 満州
- (2) A 1929 B 生糸
- C 米

解説

- 1 A・D 当時イタリアは王国、ドイツは共和国であったが、ファシスト党やナチスが議会に進出し、ほかの政党を解散させて独裁をした。
- (5) フランクリン・ローズベルトはアメリカ第32代大統領(任期1933~1945年)。第26代大統領(任期1901~1909年)を務めたセオドア・ローズベルトは遠縁にあたる。
- 2 (1) ブロック経済圏の成立により、自由貿易はできなくなり、ドイツや日本など貿易にたよる国々の経済が苦しくなった。

p.141

▶ 必修問題

- 1 (1) A アメリカ B 世界恐慌
- C ニューディール D フランス
- E ブロック経済 F 政党 G ロンドン
- (2) ソ連
- (3) イ
- (4) c ナチス〔国民社会主義ドイツ労働者党〕
- d ファシスト党
- (5) ア
- (6) ファシズム
- (7) エ
- 2 (1) (例) 本国と植民地との関係を密接にして貿易を拡大する一方、外国の商品に対する関税を高くする仕組み。
- (2) (例) 日本の生糸の最大輸出国であるアメリカで世界恐慌が始まり、生糸の需要が減って、アメリカへの輸出量が減ったため。

解説

- 1 (2) 他の国々の鉱工業生産が1929年を境に落ちこんでいるのに対し、Xは順調に生産をのびしている。
- (3) イ ニューディールでは、労働者の権利を守るために労働組合を保護した。
- (5) アはイタリアのムッソリーニが行ったことである。ヒトラーは主に東ヨーロッパに領土を広げた。
- (7) アは米騒動で退陣した内閣の首相、イはア後の1918年に日本初の本格的な政党内閣を組織した首相、ウは1925年に普通選挙法を制定した内閣の首相である。
- 2 (1) 「本国が、植民地以外の外国の商品に対する関税を高くし、関係の深い国々だけで経済を成り立たせようとする仕組み。」の解答でも可である。
- (2) 表から、1928年と1930年の間に、生糸の輸出総量が大きく減り、特にアメリカへの輸出総量が減っていることが分かる。輸出が増えている国もあるが、アメリカに比べると割合は非常に小さい。

29 日本の中国侵略

p.143

▶ 確認問題

- (1) 関東軍
- (2) ①柳条湖事件 ②満州事変
- (3) 満州国 (4) 国際連盟
- (5) 日独防共協定 (6) 五・一五事件
- (7) 二・二六事件
- (8) ①盧溝橋事件 ②日中戦争
- (9) 毛沢東 (10) 抗日民族統一戦線
- (11) 南京 (12) 戦時体制
- (13) 国家総動員法 (14) 大政翼賛会
- (15) 配給制 (16) 隣組
- (17) ①皇民化政策 ②創氏改名

解説

- (1) 日本は日露戦争で租借権を獲得した旅順に関東都督府を置き、後に行政を監督する関東庁と軍事を担当する関東軍を置いていた。
- (3) 満州国の政府の重要な役職には日本人が就いた。
- (4) ドイツも国際連盟を脱退したことで、国際連盟の目的であった国際紛争を調停する力は弱まった。
- (6) 5月15日に起こった。犬養毅首相は、「話せばわかる」と語りかけたが、海軍将校に射殺された。
- (7) 2月26日に起こった。陸軍の青年将校が約1400人の兵士を率いて大臣などを殺傷し、一時は東京の中心部を占拠したが、軍隊によって鎮圧された。
- (14)・(16) 大政翼賛会の下でさまざまな組織が作られたが、そのうちの隣組は、国民どうしが助け合うとともに監視し合うためのものだった。また、大日本産業報国会は、経営者と労働者が戦争のために協力し合う組織だった。

p.144

● 図表チェック ●

- ① A 国際連盟 B 日独
- C 国家総動員法 D 大政翼賛会
- (1) ①イ ②ウ ③ア
- (2) a 切符 b 配給
- ② (1) A 奉天 B 満州事変
- C 満州国 D 北京
- E 南京
- (2) A 海 B 犬養毅
- C 五・一五事件
- (3) A 陸 B 東京
- C 二・二六事件

解説

- ① (1) 中国は辛亥革命以降、各地を軍閥が治め、統一されていなかった。蒋介石は、国民政府を作って国土の統一を進め、共産党と内戦状態になった。しかし、日中戦争が起こると協力体制を取った。
- ② (2) 犬養毅は立憲政友会の総裁で、かつて辛亥革命を支持し、日本に亡命中の孫文をかくまったこともあった。満州事変を話し合いで解決しようとしていた。
- (2)・(3) 五・一五事件は海軍、二・二六事件は陸軍が起こした。

p.145

▶▶ 必修問題

- ① (1) A 満州事変 B 清
C ブロック D 日中戦争
E 国民 [中国国民] F 共産 [中国共産]
G 政党
- (2) イ
- (3) ア・エ
- (4) 国家総動員法
- (5) イ
- (6) 朝鮮・台湾
- ② (1) (例) 国際連盟が、満州国を認めず、日本軍の占領地からの撤兵を求める勧告を採択したから。
- (2) (例) 政党政治が終わり、軍部の政治的発言力が強くなった。

解説

- ① (1) B 清は、辛亥革命後にほろぼされていた。F 共産党は、国民政府との抗争に敗れ、根拠地をはなれて流転し、中国内陸部の延安を拠点とするようになっていた。G 立憲政友会や、憲政会の流れをくむ立憲民政党も解党して、大政翼賛会に合流した。
- (2) 満州とは中国東北部のことである。アはモンゴル、ウは中国の一部で日中戦争開始直後の主な戦場である。
- (6) 朝鮮は1910年、台湾は1895年に日本の植民地となっていた。
- ② (1) 「満州国を認めない」という内容は必要である。撤兵は「どこからの」という点を記述する。
- (2) 「どのように変化したか」とあるので、何から何に変わったかを記述する。

30 第二次世界大戦の始まり

p.147

▶ 確認問題

- (1) 独ソ不可侵条約 (2) ポーランド
- (3) 第二次世界大戦 (4) 枢軸国
- (5) 連合国 (6) 日独伊三国同盟
- (7) アメリカ (8) 大西洋憲章
- (9) ユダヤ (10) レジスタンス
- (11) 大東亜共栄圏 (12) フランス
- (13) 日ソ中立条約 (14) 石油
- (15) ABCD包囲陣 (16) 東条英機
- (17) ①真珠湾 ②イギリス
- (18) 太平洋戦争 (19) ミッドウェー

解説

- (1) 共産主義に対抗していたドイツが独ソ不可侵条約を結んだことは、世界中をおどろかせた。しかし、後にドイツはこの不可侵条約を一時的に破棄してソ連に侵攻した。
- (6) ドイツが進撃を続けるのを見て、イタリアはドイツ側に参戦した。
- (8) 大西洋憲章には、①領土の拡大を行わない、②領土の変更は住民の自由な意志に基づく場合に限る、③全ての国民は恐怖や貧困におびやかされずに生きる権利がある、などと定められていた。これは連合国共通の目的となった。
- (10) レジスタンスは主にフランスで行われ、ドイツへの協力拒否やドイツ軍の作戦の妨害、迫害された人々への支援などを行った。
- (16) 東条英機は、現役の陸軍軍人であった。
- (17) 真珠湾攻撃は、日米の交渉決裂の通告の前に行われたため、アメリカ国民は日本のだましうちであるとして反感を強めた。
- (19) 太平洋のミッドウェー諸島近海で行われた海戦で、日本は大きな損害を受けて敗北したが、日本の新聞では日本が優勢のように報道された。

p.148

● 図表チェック ●

- ① A 不可侵 B フランス
C 中立 D 太平洋
- (1) ポーランド
(2) 枢軸国
(3) イギリス—チャーチル
アメリカ—ローズベルト [フランクリン・ローズベルト]
- ② (1) A ドイツ B イタリア
C アメリカ D イギリス

- (2) A 大東亜 B フランス
C ハワイ D マレー
E ミッドウェー

解説

- ① (1) ポーランド侵攻以前、イギリスは共産主義のソ連への対抗意識から、ナチスの東方侵略を容認していた(宥和政策)。
- (2) 1936年に結ばれた、ドイツとイタリアの協力体制を「バルリン・ローマ枢軸」ということから名付けられた。
- ② (1) A・B 日独伊三国同盟なので、ドイツとイタリアのうち、ソ連と不可侵条約を結んでいる方がドイツである。
- C・D ABCD包囲陣の、Aはアメリカ、Bはイギリス、Cは中国、Dはオランダの頭文字である。

p.149

▶ 必修問題

- ① (1) A 第二次世界大戦 B 日独伊三国同盟
C 日ソ中立条約 D 東条英機 E 真珠湾
F 太平洋戦争 G 枢軸 H 連合
- (2) レジスタンス
(3) エ
(4) ウ
(5) 大西洋憲章
- ② (1) (例) 資源の少ない日本は、東南アジアの石油や天然ゴムを獲得したかったから。
- (2) (例) 日本^の指導の下、欧米の植民地支配を打破し、アジアの諸民族だけで栄えようという主張。

解説

- ① (3) Aはフランス、Iはオランダ、Uはドイツである。
- (4) Aはアメリカ、Iはオランダ、Eはイギリスの植民地だった。これらの地域などで日本軍は欧米の軍隊と戦った。
- (5) 第二次世界大戦はファシズムに対する戦争と位置づけられ、資本主義諸国と共産主義のソ連が協力した。
- ② (1) グラフの「オランダ領東インド」はインドネシアのことで、地図を見ると、油田が多いことがわかる。またマレー半島は天然ゴムの産地だった。これをふまえて記述するので、「石油」、「天然ゴム」の語句を入れるとよい。
- (2) 指定語句の三者の立場を明確にする。「欧米の植民地支配を打破し」は「欧米の勢力を追い出し」などでも可である。

31 第二次世界大戦と日本

p.151

▶ 確認問題

- (1) 学徒出陣 (2) 勤労働員
- (3) 疎開【集団疎開】 (4) 朝鮮
- (5) 台湾 (6) アメリカ
- (7) スターリングラード
- (8) イタリア (9) パリ
- (10) ドイツ (11) ガダルカナル島
- (12) サイパン島 (13) 東京大空襲
- (14) 東条英機 (15) 沖縄戦
- (16) ポツダム宣言 (17) 原子爆弾【原爆】
- (18) ヤルタ会談
- (19) ①8(月)15(日)
- ②ラジオ放送【玉音放送】

解説

- (1) 理科系・教員養成系以外の大学生・高等専門学校生に対して行われた。
- (9) アメリカ・イギリス軍が北フランスのノルマンディーに上陸し、レジスタンスとともにパリを解放した。
- (10) ヒトラーは自殺した。
- (12) サイパン島からは、アメリカ軍の爆撃機が一度の飛行で日本を爆撃できた。
- (13) B29という爆撃機で攻撃された。
- (15) 沖縄では中学生や女学生が兵士や看護要員として動員され、多くの生命が失われた。
- (16) ポツダム宣言には、①日本の軍国主義勢力の排除、②連合国軍による占領、③領土の限定、④戦争犯罪人への処罰、⑤基本的人権の尊重などが盛り込まれていた。アメリカ・イギリス・ソ連の話し合いで決められたが、ソ連はこのときにはまだ日本に宣戦布告していなかったため、アメリカ・イギリス・中国の名で出された。

p.152

● 図表チェック ●

- ① A ソ連 B イタリア
- C フランス D ドイツ
- a 東京 b 沖縄
- c 広島 d 長崎
- (1) イギリス—チャーチル
アメリカ—ローズベルト【フランクリン・ローズベルト】
ソ連—スターリン
- (2) 東条英機 (3) 昭和天皇【天皇】
- ② (1) A 疎開 B 総力

C 学徒出陣

D 勤労働員

(2) A 6

B 原子爆弾【原爆】

C 9

解説

- ① b 3月には慶良間列島などに、4月1日には沖縄本島にアメリカ軍が上陸した。
- (1) ローゼンベルト大統領は終戦直前の1945年4月12日に亡くなり、トルーマン大統領が後を継いだ。
- (3) このとき、録音した天皇の声がラジオ放送で流された。
- ② (1) 疎開先では、食料も不足し、厳しい生活を強いられた。
- (2) 広島では20万人以上、長崎では14万人以上の市民が犠牲になった。現在もまだ、後遺症に苦しむ人々がいる。

p.153

▶▶ 必修問題

- ① (1) Aアメリカ B軍需 C沖縄
D広島 E長崎 Fポツダム宣言
- (2) ウ
- (3) エ→ウ→イ→ア
- (4) ①15 ②昭和天皇【天皇】
③ラジオ【玉音】
- (5) ウ
- ② (1) (例) 成人男子は兵士として戦場に送られ、労働力が不足したから。
- (2) (例) ソ連が日ソ中立条約を破って、満州や朝鮮に侵攻してきたから。

解説

- ① (2) アは1942年6月、イは1943年2月に日本軍がアメリカ軍に敗れた島である。エは太平洋戦争開戦時に日本が攻撃したハワイの島である。
- (3) アは1945年5月、イは1944年8月、ウは1943年9月、エは1943年2月のことである。
- (4) ポツダム宣言の受諾は、前日の14日に決定されていたが、国民に発表した15日が終戦記念日となっている。
- (5) 第二次世界大戦での死者は、表の国々だけでも3000万人をこえ、世界全体では5000万人をこえるといわれている。
- ② (1) 1937年に日中戦争、1941年に太平洋戦争が始まり、日本は全ての国力を投入する総力戦として戦争を戦っていた。
- (2) ヤルタ会談の際に、ソ連が対日参戦することが決められていた。

p.154~155

- 1 (1) 世界恐慌 (2) エ
 (3) A 満州事変・エ B 日中戦争・ウ
 C 第二次世界大戦・ア D 太平洋戦争・イ
 (4) 犬養毅
 (5) (例) 国民生活や産業を、戦争に協力させる体制にするため。
 (6) 日独伊 (7) ア→ウ→イ
 (8) ポツダム宣言
- 2 (1) X ニューディール Y ブロック
 (2) a ア b ウ
 (3) (例) 銀行が倒産すると聞いた人々が預金を引き出そうとしたから。
 (4) エ (5) オ (6) 勤労動員 (7) イ

解説

- 1 (2) エ 1933年以降、ドイツの経済は急速に回復している。ナチスが1933年に政権を取り、軍備拡張と公共事業を進めたためである。
 (4) 犬養毅は立憲政友会の出身で、政党内閣を組織していた。
 (5) 政府が議会の承認なしに、国民や物資を動員できるようにした。そのため、議会の力が弱まった。
 (6) ドイツとイタリアは以前から同盟関係にあり、ベルリン・ローマ枢軸と呼ばれていたため、日本も枢軸国の一員とされた。
 (7) アは1944年、イは1945年8月6日・9日、ウは1945年3月。
 (8) ポツダム宣言は7月に発表されたが、日本が受け入れを決めたのは8月14日だった。
- 2 (2) イはソ連、エはアメリカの指導者。
 (3) 支払い不能となった多くの銀行がつぶれ、財閥系の五大銀行に吸収された。
 (4) 主にアメリカに輸出されていた生糸が売れなくなり、養蚕農家が打撃を受けた。都市では多くの工場や企業が倒産した。ア自作農のほうが、1929年と1931年の差が大きい。イ1930~1932年、1937年は2000件をこえている。ウ収入が最も少ない年は1931年、小作争議が最も多かった年は1935年。
 (5) Aはアメリカ、Bはイギリス、Cは中国、Dはオランダ。
 (7) ア都市から地方に疎開した。ウ抵抗運動のレジスタンスは主にフランスで起こった。日本国内では戦争に反対する者は非国民と呼ばれ、弾圧された。エ専売制ではなく切符制。

32 戦後の日本

p.157

▶ 確認問題

- 1 (1) アメリカ (2) 北方領土
 (3) 闇市 (4) 青空教室
 (5) 墨ぬり教科書
 (6) ①GHQ ②マッカーサー
 (7) 戦後改革
 (8) 極東国際軍事裁判 [東京裁判]
 (9) 治安維持法 (10) 満20歳以上の男女
 (11) 財閥解体 (12) 労働組合法
 (13) 農地改革 (14) 日本国憲法
 (15) ①国民主権 ②基本的人権の尊重
 ③平和主義
 (16) 教育基本法 (17) 民法

p.158

● 図表チェック ●

- 1 A マッカーサー B 人間
 C 極東
 (1) a 民主 b 財閥 c 農地改革
 (2) 満20歳以上の男女
- 2 (1) A 青空 B 民主
 C 教育基本法 D 9
 (2) A 大日本帝国 B 日本国
 C 1946 D 1947
 E 国民 F 象徴
 G 基本的人権 H 平和
 I 自治

p.159

▶▶ 必修問題

- 1 (1) A ポツダム B 沖縄 C ソ連 D 朝鮮
 E シベリア F 中国
 (2) エ (3) GHQ
 (4) ア (5) 労働基準法
 (6) 国民主権・基本的人権の尊重・平和主義
 (7) イ
- 2 (1) (例) 1928年には満25歳以上の男子に限られていた選挙権が、1946年には満20歳以上の男女にあたえられたから。
 (2) (例) 農地改革によって、政府が地主の小作地を強制的に買い上げ、小作人に安く売りわたしたため。

解説

- 2 (1) 1946年には女性の国会議員も誕生した。

33 戦後の国際社会と日本

p.161

▶ 確認問題

- (1) 国際連合〔国連〕 (2) 冷たい戦争〔冷戦〕
- (3) ①北大西洋条約機構〔NATO〕
②ワルシャワ条約機構
- (4) 中華人民共和国
- (5) ①大韓民国〔韓国〕
②朝鮮民主主義人民共和国〔北朝鮮〕
- (6) 朝鮮戦争 (7) アフリカ
- (8) 南北問題 (9) 特需景気
- (10) 自衛隊
- (11) ①サンフランシスコ平和条約 ②吉田茂
- (12) 日米安全保障条約〔日米安保条約〕
- (13) 第五福竜丸 (14) 原水爆禁止運動
- (15) 自由民主党〔自民党〕 (16) 55年体制
- (17) 安保闘争

p.162

• 図表チェック •

- ① A 毛沢東 B 第五福竜丸
C 原水爆 D 安保
- (1) 特需景気 (2) 警察予備隊
- (3) 日米安全保障条約〔日米安保条約〕
- (4) 55年体制
- ② (1) A 北大西洋 B 資本
C ワルシャワ D 共産
E 冷たい戦争〔冷戦〕
F ドイツ G ベルリン
- (2) A サンフランシスコ B 吉田茂
C アメリカ D ソ連

p.163

▶▶ 必修問題

- ① (1) A 国際連合〔国連〕 B 中華人民共和国
C インド D サンフランシスコ
E 日米安全保障〔日米安保〕
F 自由民主〔自民〕
- (2) イ・キ (3) エ (4) ウ
- (5) ① X 朝鮮民主主義人民共和国 Y 大韓民国
② 北緯38度 (6) ア
- ② (1) (例) アメリカを中心とする資本主義諸国
と、ソ連を中心とする共産主義諸国が全面的
な戦争に至らないが厳しく対立すること。
- (2) (例) 大量の重需物資が日本で調達されて
特需景気が起こり、経済復興が早まった。

34 日本の外交と経済発展

p.165

▶ 確認問題

- (1) アジア・アフリカ会議
- (2) キューバ危機 (3) ベトナム戦争
- (4) 日ソ共同宣言 (5) 日韓基本条約
- (6) 日中共同声明 (7) 日中平和友好条約
- (8) 沖縄 (9) 非核三原則
- (10) 高度経済成長 (11) 石油
- (12) 東京オリンピック・パラリンピック
- (13) 公害問題
- (14) ①公害対策基本法 ②環境庁
- (15) 石油危機〔オイル・ショック〕
- (16) テレビ〔テレビ放送〕
- (17) 黒澤明 (18) 手塚治虫
- (19) 川端康成

p.166

• 図表チェック •

- ① A テレビ B アジア・アフリカ
C 共同宣言 D 基本条約
E 共同声明 F 平和友好条約
- (1) ①エ ②ア ③イ ④ウ
- (2) 第四次中東戦争
- ② (1) A サンフランシスコ平和
B アメリカ C 持ちこませず
- (2) A 高度経済成長 B 4
C 石油危機〔オイル・ショック〕
D 東海道 E オリンピック
F 公害対策基本

解説

- ② (1) 朝鮮戦争やベトナム戦争では、沖縄の基地から
多くの戦闘機が飛び立った。

p.167

▶▶ 必修問題

- ① (1) A キューバ B ベトナム
C 国際連合〔国連〕 D 東京
E 高度経済成長
F 石油危機〔オイル・ショック〕
- (2) アジア・アフリカ会議
- (3) ア (4) イ・ウ (5) ①エ ②ウ
- (6) ①エ ②ア ③ウ ④イ
- ② (1) (例) 沖縄が日本に復帰したから。
- (2) (例) アメリカとソ連の対立が弱まり、緊
張緩和が進んだから。

p.169

▶ 確認問題

- (1) アフガニスタン (2) ドイツ
- (3) 冷戦の終結 (4) サミット
- (5) EU (6) APEC
- (7) 地域紛争 (8) 同時多発テロ
- (9) PKO (10) NGO
- (11) バブル経済 (12) 世界金融危機
- (13) グローバル化 (14) 地球温暖化
- (15) ①阪神・淡路大震災 ②東日本大震災
- (16) NPO (17) 少子高齢化
- (18) SDGs (19) 持続可能な社会

解説

- (1)・(8) アフガニスタンはかつてはソ連と国境を接していた。アメリカは、アフガニスタンが同時多発テロの首謀者をかくまっているとして攻撃した。

p.170

● 図表チェック ●

- 1 A ドイツ B イラク
- C ソ連 D アメリカ
- a PKO b 阪神・淡路
- c 東日本
- (1) あ 地球温暖 い 温室効果ガス
- (2) 55年体制 (3) 非営利組織
- 2 (1) Aベルリン B冷戦
- (2) Aバブル B赤字

p.171

▶▶ 必修問題

- 1 (1) A地域紛争 B湾岸戦争 C同時多発テロ
- D平和維持活動 [PKO] E自衛隊
- F主要国首脳会議 [サミット]
- Gバブル経済
- (2) マルタ会談 (3) bウ cオ
- (4) エ (5) 自由民主党 [自民党]
- (6) ボランティア活動 (7) イ
- 2 (1) (例) 株価や地価が異常に高くなる不健全な好況の状態。
- (2) (例) 現在の世代だけでなく、将来の世代の利益も損なわないように配慮した開発。

解説

- 1 (3) アはイスラエル、イはサウジアラビア、エはイラン。

p.172~173

- 1 (1) (例) 女性に参政権が認められ、初めての女性の国会議員が誕生した。
- (2) X国民 Y基本的人権 Z平和
- (3) サンフランシスコ (4) エ
- (5) 平和友好 (6) ア (7) イ
- (8) イ
- 2 (1) (例) 自作農を増やすこと。
- (2) X鉄鋼 Y機械 Z1955
- (3) ①高度経済成長 ②ウ
- ③イ ④ア ⑤バブル ⑥エ

解説

- 1 (1) 写真から、国会に女性の議員がいることがわかる。
- (3) アメリカのよびかけで講和会議が開かれたが、中国は招かれず、ソ連は調印を拒否した。
- (4) 日ソ共同宣言でソ連と国交を回復したことで、国際連合の常任理事国であるソ連の反対がなくなり、日本の国際連合加盟が実現した。アは1951年でサンフランシスコ平和条約と同時。イは1972年で日中共同声明と同年。ウは1950年で朝鮮戦争と同年。
- (6) 朝鮮戦争は朝鮮民主主義人民共和国と大韓民国の戦い、ベトナムは北ベトナムと南ベトナムの戦いで、いずれも、北を社会主義陣営が、南を資本主義陣営が支援した。イラク戦争は、アメリカがイラクを攻撃した。
- (7) インドネシアのバンドンで開かれたので、バンドン会議とも呼ばれる。
- (8) アは1990年、ウは1991年。
- 2 (1) 資料1から自作農の割合が大きく増え、小作農の割合が減っていることがわかる。小作農が自分の土地を持ち、自作農になったと考えられる。
- (2) 戦後は重化学工業が発展した。1956年の政府の経済に関する刊行物に書かれた「もはや戦後ではない」という言葉は有名である。
- (3) ②高度経済成長期、家庭電化製品が普及した。洗濯機・冷蔵庫・白黒テレビは「三種の神器」と呼ばれた。アは大正時代、イは1990年代、エは明治時代。③アは1967年、ウは東京裁判とも呼ばれ、1946年、エは1953年。④イは2001年、ウは1962年、エは1991年。⑥2011年に起きた東日本大震災。